



Trimble Access™ サービス



バージョン 2017.10
改訂 A
2017 年 3 月

法的情報

Trimble Inc.

www.trimble.com

著作権と商標

© 2009-2017 年, Trimble Navigation Limited. 著作権所有。

詳しい著作権および商標情報については、*Trimble Access* ヘルプをご参照ください。

目次

1	Trimble Access Service の紹介	4
	Trimble Access Servicesの概要	4
	現場でTrimble Access にログインする	6
2	Trimble Connect	10
	Trimble Access ServicesとTrimble Connect	10
	Trimble Connectプロジェクトの設定	13
	プロジェクトデータの管理	14
3	AccessSyncとTrimble Connected Connectの併用	17
	AccessSync 概要	17
	Trimble Connectとコントローラ間のファイル同期	17
	コントローラに重複するファイル名があった場合の動作の制御	21
	クラウドにあるデータを自分のオフィスコンピュータで管理する	24
4	Trimble Connected Community	26
	Trimble Access Services と Trimble Connected Community	26
	Trimble Connected Community Organizationの管理	28
	Trimble Connected Community Organizationの使用	33
5	AccessSyncとTrimble Connected Connect Community の併用	36
	AccessSync 概要	36
	オフィスから現場へファイルを転送する	38
	コントローラに重複するファイル名があった場合の動作の制御	43
	現場からオフィスへファイルを転送する	46
	Trimble Connected Communityにあるデータを自分のオフィスコンピュータで管理する	51
6	ファイル変換	54
	旧Trimble Accessファイルの最新バージョンへの変換	54
	自動ファイル変換	54
	手動ファイル変換	56
7	GNSS Forecast	58
	GNSS Forecast	58

Trimble Access Service の紹介

Trimble Access Servicesソフトウェア バージョン2.30 のヘルプによろこそ。

このヘルプより詳しい情報やその更新に関しては、Trimble Accessリリースノートを参照してください。 <http://apps.trimbleaccess.com/help>から、Trimble Accessリリースノートの最新PDFファイルや、各Trimble Accessアプリケーションのヘルプファイルをダウンロードできます。

ヒント - Trimble AccessアプリケーションヘルプのPDFファイル間のリンクを正常に機能させるには、お使いのコンピュータ上の同一フォルダにPDFファイルをダウンロードし、ファイル名を変更しないようにします。

Trimble Access Servicesの概要

Trimble Access Servicesは、Trimble Accessソフトウェアを補完する一連のツールです。例えば、コントローラからサポート対象のクラウドベースの共同作業プラットフォームにファイルを簡単に移したりすることができます。有効なTrimble Accessソフトウェア保守契約が存在するときは、Trimble Access Services を使用する権利があります。

コントローラとクラウド間でのファイル同期に使用されるサービスは、AccessSyncです。AccessSyncは、Trimble Connectクラウドベース共同作業プラットフォーム、Trimble Connected Communityウェブベースサービスのどちらとも共用できます。

注意 - AccessSyncアプリケーションを実行するには、各コントローラに対して有効なAccessSyncライセンスが必要です。すなわち、AccessSyncアプリケーションと共用する各コントローラに対して、有効な保守契約が存在する必要があります。

サービス	利用できる場所	説明
AccessSync	フィールド	<p>このサービスでは、フィールドコントローラとクラウド (Trimble ConnectまたはTrimble Connected Community) とのファイルの同期にインターネット接続を使用します。</p> <p>オフィスから現場へのファイルの転送時に、現場のコントローラのバージョンに合わせてファイルを自動変換。</p>
Trimble Connect	オフィス	<ul style="list-style-type: none"> AccessSyncでのファイル保存および共有 <p>下記のいずれかの要領で、クラウドに保存されたファイルを管理します:</p> <ul style="list-style-type: none"> ウェブブラウザ (http://connect.trimble.com) Trimble Business Center (遠隔ファイルを開く) Trimble Connect Syncを使用してデスクトップに同期する <p>ファイル権限の管理</p>
Trimble Connected Community	オフィス	<ul style="list-style-type: none"> AccessSyncでのファイル保存および共有 <p>下記のいずれかの要領で、クラウドに保存されたファイルを管理します:</p> <ul style="list-style-type: none"> ウェブブラウザ (http://mytrimbleaccess.com) Trimble Business Center (遠隔ファイルを開く) Trimble Connected Community Explorerを使用してのデスクトップへの同期 <p>ファイル権限の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイル変換* <p>旧版Trimble Survey Controllerや一般測定のジョブファイルを更新および変換し、さらにローカルに保存したり、Trimble Connected Communityに直接保存して現場に転送したりします。</p> <ul style="list-style-type: none"> データ処理* <p>GNSSデータファイルを最終処理に向けて第三者サービスにアップロードします。</p> <ul style="list-style-type: none"> GNSS予想* <p>特定の場所における衛星の可用性や電離層の状態にもとづいてGNSS測定の適切性を予想するプランニングツールです。</p>
GNSS予想	フィールド	<p>特定の場所における衛星の可用性や電離層の状態にもとづいてGNSS測定の適切性を予想するプランニングツールです。</p>

現場でTrimble Access にログインする

システムが初めて実行された時、データが保存されるディレクトリを定義するために全てのユーザはTrimble Access ソフトウェア に必ずログインしてください。全てのTrimble Accessファイルは、 ¥Trimble Data¥<username>に保存されます。

ログインすると：

- 同じコントローラを使用する他のユーザとファイルの分割、識別ができます。
- 特定の現場作業員と団体の間のデータ管理が容易になる。

AccessSync サービスによりログインが必要となる理由：

- 現場からサービスへのアクセス認証するため。
- 現場にある正しいのコントローラ、およびクラウドの正しい保存先にファイルが転送されるようにします。
- どのコントローラからでも現場プロジェクトデータにアクセスできるようにするため。

Trimble Access ソフトウェアへのログイン

1. Trimble Access メニューから、「ログイン」をタップし、「ログインモード」を選択します。

ログインモード 使用する機会 機能

オフライン	インターネット接続がない場合	データの保存先となるディレクトリを定義します。全ての Trimble Accessファイルは、 [¥Trimble Data¥<username>]に保存されます。 または AccessSyncなど、オンラインサービスを購入していない場合。
Trimble Connect	Trimble Connect のアカウントをお持ちです。 と 現在、インターネット接続が利用できる場合	<ul style="list-style-type: none"> データの保存先となるディレクトリを定義します。全ての Trimble Accessファイルは、 [¥Trimble Data¥<username>]に保存されます。<username>フォルダは、Trimble Connectにサインインする際に使用されるメールアドレスの最初の部分、すなわち@の前の部分です。 ユーザが現場からサービスにアクセスする資格があるか認証します。 現場にある正しいのコントローラ、およびクラウドの正しい保存先にファイルが転送されるようにします。
TCC	組織の設定が Trimble Connected Communityにあります。 と 現在、インターネット接続が利用できる場合	<ul style="list-style-type: none"> データの保存先となるディレクトリを定義します。全ての Trimble Accessファイルは、 [¥Trimble Data¥<username>]に保存されます。 ユーザが現場からサービスにアクセスする資格があるか認証します。 現場にある任意のコントローラや団体、サイト、オフィス内のフォルダロケーションなどへ正しくファイルを転送されるようにします。

2. 詳細を入力して、以下のいずれかを実行します：

- オフラインでログインしていて、AccessSyncなどのオンラインサービスを購入していない場合は、任意のユーザー名でログインできます。これは単にユーザーのデータフォルダ名を定義するだけなので。パスワードは不要です。

「次へ」をタップします。

ユーザ設定をレビューして「完了」をタップします。
- オフラインでログインしている場合で、後でAccessSync などのオンラインサービスを使ってオンラインにする場合は、 AccessSyncユーザ名（メンバー ID）を入力します。パスワードは不要です。

ユーザ名は、データフォルダを設定するのに使用される他、オンラインサービスを使用する際の認証に使用されます。

「次へ」をタップします。

前回オンラインでログインしていた場合は、データ転送に利用できるTrimble Connectプロジェクトか、Trimble Connected Communityサイトのリストが表示されます。現場を選択して「次へ」をタップします。次回にインターネット接続を取得した際、再度ログインしなくてもファイルを転送できます。

前回オンラインでログインしていなかった場合は、ユーザ設定をレビューすることができます。その後「完了」をタップします。

- オンラインでTrimble Connectにログインしている場合、Trimble Connectユーザ名（メールアドレス）とパスワードを入力しなければなりません。これらユーザ詳細は、データフォルダのセットアップ **および** 認証に使用されます。

次へをタップします。Trimble Access ソフトウェアは、Trimble ホストサーバに接続してユーザログイン詳細を認証するために、インターネット接続を使用します。認証が済むと、Trimble Access ソフトウェアは、使用可能なTrimble Connect現場のリストを取得します。これにより、AccessSyncサービス経由でファイルを同期できます。

ドロップダウンリストからTrimble Connectプロジェクトを選択します。このプロジェクトがAccessSync サービスを使用してファイルの送受信に使用されます。

「次へ」をタップします。

ログイン設定をレビューしたら、「完了」をタップします。

- オンラインでTrimble Connected Communityにログインしている場合、Trimble Connected Communityユーザ名（メンバーID）とパスワードを入力しなければなりません。Trimble Connected Community組織の「略称」を入力するか、リストから選択します。これらユーザ詳細は、データフォルダのセットアップ **および** 認証に使用されます。

次へをタップします。Trimble Access ソフトウェアは、Trimble ホストサーバに接続してユーザログイン詳細を認証するために、インターネット接続を使用します。認証が済むと、Trimble Access ソフトウェアは、使用可能なTrimble Connected Community現場のリストを取得します。これにより、AccessSyncサービス経由でファイルを同期できます。

ドロップダウンリストからTrimble Connected Communityサイトを選択します。このサイトがAccessSync サービスを使用してファイルの送受信に使用されます。

「次へ」をタップします。

ログイン設定をレビューしたら、「完了」をタップします。

メモ -

- AccessSyncサービスは、現在のTrimble ConnectプロジェクトまたはTrimble Connected Communityサイトに常に最新のデータを同期します。もしこのプロジェクトまたはサイトが間違っていて設定されていると、データは間違ったサイトに転送されてしまいます。

1 Trimble Access Service の紹介

- このリストは、アクセスしている団体のTrimble ConnectプロジェクトまたはTrimble Connected Communityサイトのみを表示しています。さらに詳しい情報につきましては、[チームメンバーとのプロジェクト共有](#)または、[サイト許可の編集](#)。
- コントローラに正しいデータセットがあることを確認してください。間違っているとログインが失敗する恐れがあります。
- ユーザ名を削除するには「削除」をタップします。関連するデータフォルダは削除されません。このフォルダを削除したい場合は、「ファイル」アプリケーションを使って手動で削除することができます。

コントローラから他のユーザ名でログインする

1. Trimble Access メニューにあるログインボタンをタップします。
2. 新しいユーザ名とパスワードでログインします。

メモ -

- 現在使用中のユーザ名はTrimble Access メニューのログインボタンに表示されます。
- ユーザを切り替えた時にデータが正しい場所に保存されるようにするには、専門アプリケーションを再起動してください。

Trimble Connect

Trimble Access ServicesとTrimble Connect

AccessSyncサービスでは、フィールドコントローラとTrimble Connectとのファイルの同期にインターネット接続を使用します。

Trimble Connectは、クラウドを利用した共同作業プラットフォームで、オンラインデータ記憶域やその他のツールを提供することにより、プロジェクトチームがプロジェクト情報を素早く手軽に共有できるようにします。

全てのTrimble Connectユーザは、Trimble Connectと同じ機能にアクセスできますが、アクセス可能なプロジェクト数や、保存可能なデータの量、プロジェクトの閲覧者として追加可能なユーザ数に限りがあることがあります。

本章では、Trimble Accessシステムの一部としてTrimble Connectを使用する方法について説明します：

- [Trimble ConnectとTrimble Connected Communityの主な相違点](#)
- [概要：AccessSyncを使用してのTrimble Connectプロジェクトの設定とデータの転送](#)
[概要：AccessSyncを使用してのTrimble Connectプロジェクトの設定とデータの転送](#)
- [Trimble Connectプロジェクトの設定](#)
 - [Trimble Connectアカウントの作成](#)
 - [Trimble Connect Webにサインインする](#)
 - [Trimble Connect Webでプロジェクトを作成する](#)
 - [チームメンバーとのプロジェクト共有](#)
- [プロジェクトデータの管理](#)
 - [データを構成する](#)
 - [Trimble Connect Webでのプロジェクトの追加](#)

詳細に関しては、[Trimble Connectヘルプ](#)を参照してください。

Trimble ConnectとTrimble Connected Communityの主な相違点

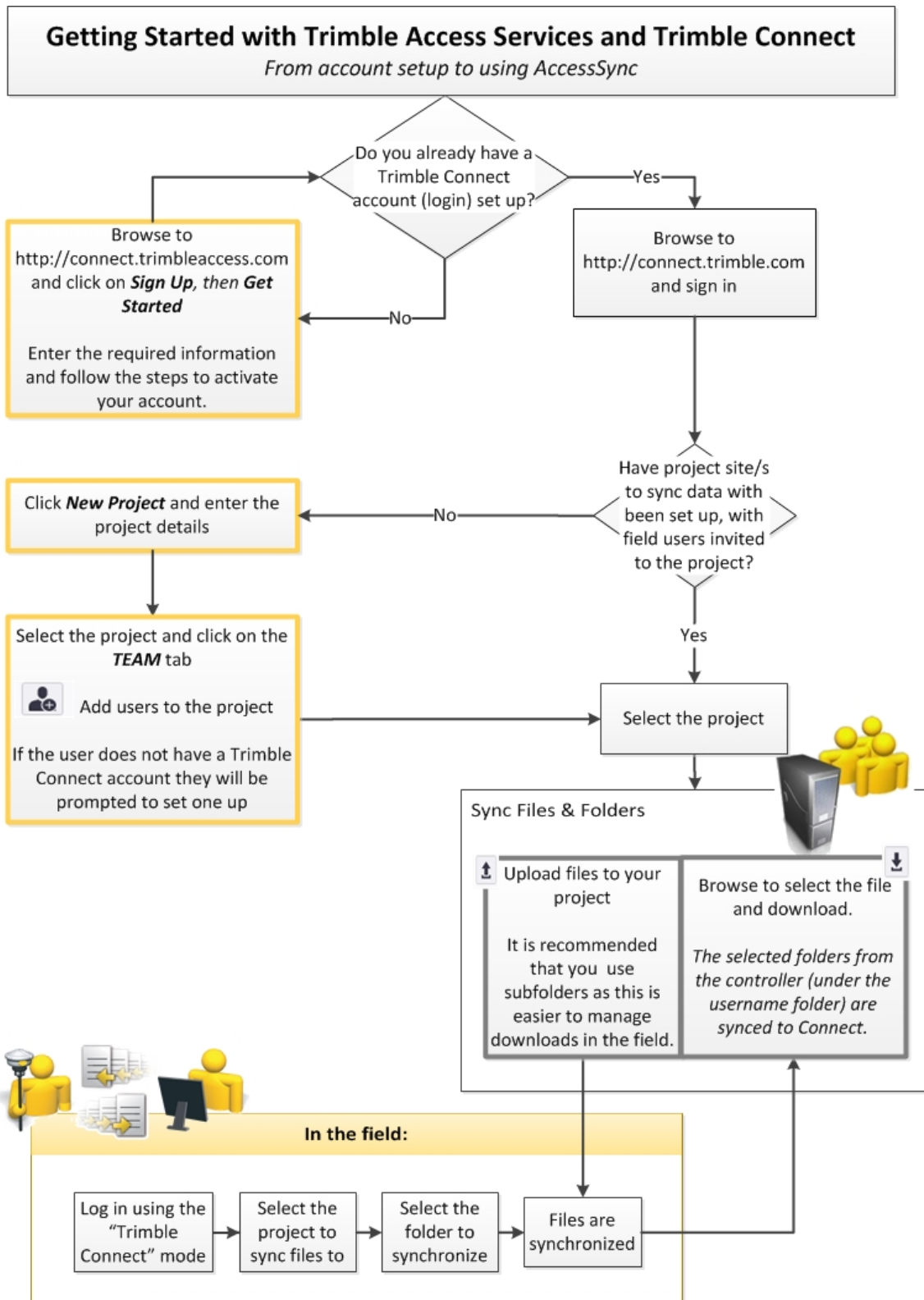
Trimble Connected Communityを使用してのデータの保存や情報の共有に慣れている場合で、Trimble Connectクラウド型共同作業プラットフォームへの移行を検討しているとき

は、両プラットフォーム間の主な違いを理解しておくことが有用です。これらの違いは以下の通りです：

- Trimble Connectには、系統立ての概念はありません。その代わりに、データはプロジェクトやフォルダごとにまとめられます。
- フォルダやプロジェクトは、Trimble Connectアカウントを持つ人ならば誰とでも共有でき、新規ユーザの招待も可能です。
- Trimble Connectのフォルダ構造はよりシンプルです。コントローラへのデータ転送の際、プロジェクト内へのフィールドへやシステムファイルといったフォルダの作成は不要です。
- データはユーザごとにフォルダ分けされません。その代わりに、各ファイルには最終修正者タグが付けられます。
- フィールドで作業中の他のユーザとの、フィールドからのファイルの共有がより簡単です。Trimble Connectプロジェクトとデータを同期するだけで済みます。他のフィールドユーザは、これらのファイルをオフィスで誰かが移動するのを待つことなく、各自のコントローラへのダウンロードが可能です。

概要： AccessSyncを使用してのTrimble Connectプロジェクトの設定とデータの転送

下図は、プロジェクトの設定から、AccessSyncとの間のデータ転送までの手順を示しています。



Trimble Connectプロジェクトの設定

Trimble Connectアカウントの作成

1. インターネットブラウザから <http://connect.trimbleaccess.com>を開きます。
2. サインアップをクリックします。
3. 始めましょうをクリックします。
4. 必要事項を記入し、さらにアカウント作成をクリックします。

登録したメールアドレスに返信メールが送られます。メールにあるリンクをクリックして、アカウントのアクティベーションを行います。アカウントのアクティベーションプロセスでは、Trimble Connectへのサインインに必要な詳細を設定します。

Trimble Connect Webにサインインする

1. インターネットブラウザから <http://connect.trimble.com>を開きます。
2. サインインをクリックします。
3. ユーザ名とパスワードを入力し、さらにサインインをクリックします。

Trimble Connect Webでプロジェクトを作成する

1. インターネットブラウザから<http://connect.trimble.com>を開き、Trimble Connectにサインインします。
2. 新しいプロジェクトをクリックします。
3. プロジェクト名を入力します。
4. 必要ならば、Trimble Connect内でプロジェクト用サムネイル画像として使用する画像を選択します。
5. プロジェクトの保存場所となるプロジェクトファイルサーバを選択します。

データのダウンロードやアップロードのパフォーマンスを最大化するには、プロジェクトチームの拠点に最も近い地域を選びます。

ヒント - プロジェクトリストは、サーバ所在地ごとに絞り込まれます。すべてのプロジェクトが見えていないときは、プロジェクト / フィルタタブでプロジェクトサーバ所在地の設定を確認します。

6. 提出をクリックします。


プロジェクトは、Trimble Connectで作成され、表示されます。

注 - チームメンバーをプロジェクトに招待するまでは、ユーザが作成したプロジェクトは、そのユーザだけが見ることができます。

7. プロジェクトをクリックして開きます。

画面の左側にエクスプローラパネルが表示され、画面上部にプロジェクト用のアクションタブが横並びに表示されます。

チームメンバーとのプロジェクト共有

1. Trimble Connect Webでプロジェクトを開きます。
2. チームタブを選択します。
3. をクリックします。
4. 招待する相手ユーザの電子メールアドレスを入力します。複数電子メールアドレスの入力が可能です。その場合、アドレス間はコンマかセミコロンで区切ります。
5. 必要ならば、ユーザの所属先となるグループを選択します。
6. 役割を選択します。役割は通常、「ユーザ」となります。
7. **提出**をクリックします。

プロジェクトへの参加方法が書かれた電子メールがそのユーザに送信されます。ユーザがTrimble Connectアカウントを持っていないときは、そのユーザのステータスは、アカウントのアクティベーションが行われるまで、「アクティベーション待ち」と表示されます。

プロジェクトデータの管理

必要に応じ、Trimble Connect Webにファイルをアップロードし、中央ローケーションに保存したり、コントローラに簡単にダウンロードしたりできます。コントローラ上のファイルの更新後、AccessSyncを使い、Trimble Connect Webへの変更内容をアップロードします。JXL、DXF、CSV各ファイルなど、どんな種類のファイルでもアップロード可能です。

データを構成する

Trimble Connectでは、オフィスとコントローラ間で正常にデータ転送を行うために、ファイル保存場所として特に満たすべき条件はありません。

Trimble Connect内のメインのプロジェクトフォルダは、コントローラ上のユーザ名/プロジェクトフォルダに同期されます。プロジェクトフォルダがまだコントローラ上に存在しないときは、コントローラに初めてファイルをダウンロードする際、自動的に作成されます。Trimble Connect内のプロジェクトフォルダに、通常においてコントローラ上に存在するファイル（特徴ライブラリFXLファイルなど）が含まれていない場合、AccessSyncは、それらのファイルのダウンロード時に、System Filesフォルダに自動的に保存し、さらにその後のオフィス、コントローラ間システムファイル同期を管理します。

プロジェクトサイトをセットアップし、通常作業にあたるプロジェクトの規模や数に適した形にすることができます。Trimbleでは、下記のいずれか一つの方法を使用したデータ構造をお勧めします：

- **各測量プロジェクトごとに一つのTrimble Connectプロジェクト**

通常、大規模プロジェクトに長期にわたって従事するユーザには、この構造が適しています。プロジェクトへのデータ同期を行うユーザが複数存在するときは、ユーザ同士の間でデータを隔離するため、ユーザごとにサブフォルダを作成します。

● 全フィールドデータ共通の一つのTrimble Connectプロジェクト

データを構成する方法としては、これが最も単純です。コントローラからプロジェクトに接続し、さらにTrimble Connect内のプロジェクトフォルダに同期を行う全ユーザが、プロジェクト内の全ファイルとフォルダを各自のコントローラにダウンロードします。Trimbleでは、プロジェクト内のデータを管理する目的で、サブフォルダ作成による下記の隔離を勧めています：

- 複数ユーザから生じた
- 測量プロジェクトデータ

ヒント -

- Trimbleでは、学習プロセスを単純化する目的、ユーザ1名につき一つのサブフォルダを作成する形で一つのプロジェクトのみ使用することを勧めています。システム使用の経験が増していくに従い、サブフォルダや追加プロジェクトを追加していくとよいでしょう。
- 複数ユーザがファイル同期を行っている場合、「user_date.job」など、競合の防止のためファイルの名付け方法に適切な規則を設けてください。詳しくは、[コントローラに重複するファイル名があった場合の動作の制御](#)参照してください。
- なお、フォルダ階層が多過ぎると、フィールドユーザが困難を感じる場合があります。
- フィールドユーザは、新規ユーザやデータをプロジェクトに追加できます。これを行うため、コントローラ上の同期対象フォルダを選択することができます。同期対象ユーザフォルダを選択すると、各自のユーザフォルダ内の全データがTrimble Connectにアップロードされます。

注 - パイプラインデータは、`<username>`フォルダではなく、コントローラ上のTallyフォルダ内に保存されることから、すべてのユーザがTrimble Connect内の同一フォルダを共有できます。ファイルは、コントローラからTrimble Connectに同期される際、すべて同一ファイルに同期されますが、各パイプライン ファイルにユーザ名が追記されるので、Tally and Joint Map Updaterユーティリティを使用して簡単に統合可能です。詳しくは、Pipelines Help (<http://apps.trimbleaccess.com/help>で参照可能)をご覧ください。

Trimble Connect Webでのプロジェクトの追加

1. Trimble Connect Webでプロジェクトを開きます。
2. データタブを選択します。
3. エクスプローラパネルで \oplus をクリックしてから、さらにフォルダを作成をクリックします。Trimble Accessソフトウェアを実行中のコントローラとの同期対象データの保存場所となるフォルダの名前を入力し、さらに提出をクリックします。

注 - Trimble Connectでプロジェクト内にフォルダを作成する際、許可設定は初期設定でフルアクセスに設定されているので、フォルダの読み書きが可能です。フォルダは、サーバからファイルをアップロードおよびダウンロードするには、AccessSyncに対するフォルダの設定がフルアクセスになっている必要があります。フォルダの許可設定を「読み出し専用アクセス」に変更すると、AccessSyncがTrimble Connectからコントローラにデータを送信することは可能ですが、コントローラがTrimble

Connectにデータを送信することはできません。フォルダを「ノーアクセス」に設定すると、フォルダはAccessSyncに表示されず、データの同期もできなくなります。プロジェクトに対する管理者権限を持つユーザであれば、フォルダ許可設定にかかわらず、プロジェクト内のすべてのフォルダにフルアクセス権限があります。

Trimbleでは、一つのプロジェクトに複数ユーザがデータを同期している場合、各ユーザからのデータの所在を把握できるように、ユーザごとに一つのサブフォルダを作成するか、各自のファイルに適切なファイル名付け規則を設けておくことを勧めています。

4. 必要ならば、作成したフォルダを選択してから、**+**をクリックし、さらにフォルダを作成をクリックします。このフォルダにデータを同期する予定のユーザのユーザ名を入力します。必要に応じ、プロジェクトでデータ同期を行う予定の各ユーザについても同じ手順を行います。
5. フォルダにデータをアップロードするには、フォルダを選択し、さらに**↑**をクリックします。

アップロードしたファイルは、この時点でAccessSyncを使い、コントローラに同期可能です。[Trimble Connectとコントローラ間のファイル同期](#)を参照してください。

注 - AccessSyncを使用してプロジェクトへのデータのアップロードや、コントローラとのデータの同期を行う際、Trimble Connect内のチェックインまたはチェックアウト機能へのアクセスは不要です。

AccessSyncとTrimble Connected Connectの併用

AccessSync 概要

AccessSyncサービスを使用して、Trimble Connectクラウドベース共同作業プラットフォームと現場のコントローラとの間でジョブや関連ファイルの転送をします。

AccessSyncサービスは、インターネット接続を使用し、Trimble Accessファイルを転送します。現場では、システムに正しくログインし、かつデータ同期先となるTrimble Connectプロジェクトを選択する必要があります。

オフィスから現場のコントローラにファイルを転送する際、一部の種類のファイルは、現場のコントローラで必要なバージョンに自動変換が可能です。

データ転送速度

データの転送速度、および他のネットワークサービスのニーズを考慮する必要があるか選択することができます。オプションは以下の通りです：

- 最小：常に遅い速度でファイルを転送します。リアルタイム測量が固定局データのために接続を使用している場合には、すべてのファイルの転送を保留します。インターネット接続が遅い場合、または速度に制限がある場合にはこれを使用します。
- アダプティブ：インターネット接続が使用されていない場合には、ファイルを中程度の速度で転送し、他のアクティビティと接続を共用している場合は速度を低くします。このモードの動作は、接続のタイプや容量によって変わります。
- 最大：接続の最も速い速度でファイルを転送します。インターネット接続の容量が高帯域幅に対応できない場合には、他の機能も接続を使用していたら、スループットが低下する場合があります。

Trimble Connectとコントローラ間のファイル同期

AccessSyncサービスを使用すると、コントローラ上や、Trimble Connectクラウドベース共同作業プラットフォーム内のファイルへの変更内容をインターネット接続により同期できます。

Trimble Connectでプロジェクトをセットアップし、プロジェクトデータをアップロードし、Trimble Connectユーザとの間でプロジェクトを共有した時点で、現場ユーザはいつ





でもAccessSyncサービスを使い、Trimble Connectと各自のコントローラとの間で最新データを同期できます。

注 - 特定フォルダやサブフォルダに対し、AccessSync内からファイル不一致オプションを設定できます（コントローラ上のファイルバージョン付けや上書き設定など）。詳しくは、[コントローラに重複するファイル名があった場合の動作の制御](#)参照してください。

1. Trimble Accessソフトウェアを起動します。
2. コントローラにある Trimble Accessインターネット設定 ツールを使用してインターネット接続を設定します。
3. Trimble Accessサインイン認証情報を使用し、Trimble Connectソフトウェアにログインします：
 - a. Trimble AccessLauncher画面で、ユーザ名フィールドをタップします。ログイン画面が表示されます。
 - b. ログインモードフィールドで、*Trimble Connect* を選択します。
 - c. Trimble Connectへのサインインに使用するユーザ名とパスワードを入力します。ユーザ名は、Trimble Connectへのサインインに使用する電子メールアドレスです。
 - d. 次へをタップします。
 - e. データの同期先となるTrimble Connectプロジェクトを選択し、「次へ」をタップします。

ログイン完了画面が表示され、選択されたTrimble Connectプロジェクトに正常にログインできたことを確認します。
 - f. 次へをタップします。

AccessSyncサービスが自動的に起動し、ファイル転送進捗状況を表示します。詳細は下の表の通りです。

列	説明
フォルダ名	<p>コントローラにあるフォルダ名をTrimble Connectと同期することもできます。</p> <p>以下の名前が表示されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> • <username> • <username>フォルダ内に含まれるすべてのプロジェクトフォルダとサブフォルダ • System Files <p>フォルダ名の左側にあるチェックボックスは、フォルダの同期状況を示します。より詳しい情報は、以下の表手順5をご参照ください。</p>
ステータス	<p>ファイル転送処理の追加情報を表示します。</p> <p>以下のいずれかのステータスが表示されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「アイドル」は、転送するファイルがないか、フォルダが同期用に選択されていないことを示します。 • 「x / y」は、y 個のファイル中、x 個のファイルが転送されたことを示します。 <p>クラウドアイコンが、ファイルの送受信が必要かどうかを示します:</p> <ul style="list-style-type: none">  ファイルをTrimble Connectにアップロードする必要があることを示します  ファイルをTrimble Connectからダウンロードする必要があることを示します。  ファイルをTrimble Connectとの間でやり取り（アップロードおよびダウンロード）する必要があることを示します。 <p>ステータスをタップし、転送中の個々のファイルのリスト表示を見ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 優先覧をタップして、送受信するファイルを選択し、送受信の優先順位を決めます。または、全てのファイル優先順位を変更することもできます。 •  をタップし、ファイルのダウンロード不一致オプションを設定します。詳しくは、コントローラに重複するファイル名があった場合の動作の制御
プロジェクトTrimble Connect	<p>ファイルの送信先や受信元となるTrimble Connectプロジェクトフォルダ。</p>



現在の転送状況を示すために、表内の列ごとに色が変わります:

- 緑は、フォルダが同期され、ほかの変更など転送するものないことを示します。
- 赤は、1つ以上のファイルの転送に問題があることを示します。

- 必要に応じ、各フォルダのチェックボックスを設定します。複数の送信対象ファイルが一つのフォルダに入っているときは、そのフォルダはフォルダの一覧内に表示されます。それ以外の場合、ファイルはユーザ名のフォルダに送信されます。各チェックボックスの状態表示は3通りあります：

状況 同期作業

- フォルダ内のファイルは、Trimble Connectプロジェクトと同期されます。
これらのファイルの同期を中断するには、このチェックボックスを解除します。
- フォルダ内のファイルは、Trimble Connectプロジェクトに同期されません。
このファイルの転送を開始するには、このチェックボックスを選択します。
- Trimble Connectプロジェクトに割り当てられていないため、フォルダにあるファイルは同期されません。
Trimble Connectプロジェクトにファイルを割り当て直すには、このチェックボックスを選択します。

- データ転送速度を変更するには、をタップします。
- 最大アップロード可能サイズを変更するには、をタップします。
注 - 初期設定では、AccessSyncは、8MBを超えるファイルをTrimble Connectに送信しません。タブレットを使用の際は、最大アップロード可能サイズを256MBまで増やすことができます。
- サイトにあるファイルがアップロードされたり、更新されたりした時には、Trimble Connectを設定して他のユーザーへ電子メールすることができます。これを行うには、Trimble Connect Web内でプロジェクトを開き、設定を選択後、画面左側のメニューから電子メールを選択します。

タスクバーの 情報警告 が新しいファイルがコントローラに転送されたことを表示します。

メモ

- セットアップが完了すると、AccessSyncサービスは、コントローラ上の選択されたプロジェクトフォルダ内のファイルを、Trimble Connectプロジェクトと、30秒ごとに比較します。Trimble Connectプロジェクト内に、コントローラ上には存在しないファイルが存在する場合、コントローラ上のファイルが変更された場合、新しい修正されたファイルが転送されます。
- 選択されたプロジェクトフォルダ内や選択されたサブフォルダ内のファイルは全て、Trimble Connectプロジェクトとコントローラの間で同期されます。
- インターネットに接続されていない場合は、接続された時に同期されます。
- インターネット接続によりGPS補正情報を受信している場合、GPS補正情報はファイルのアップロードより優先されます。
- System FilesフォルダにあるFXLファイル、RTDファイル、LOGファイルのみ、コントローラからTrimble Connectに転送されます。

- オフィスから現場のコントローラに送信するデータ量には制限はありません。
- AccessSyncファイルのより詳しい転送履歴を見るには、「履歴」ソフトキーをタップします。
- 表のデータを並べ替えるには行の見出しをタップします。

一日を通して連続的にデータをアップロードする必要がない場合は、ファイル転送処理を最適化することができます：

1. 現場セッションの開始時点で：
 - a. AccessSyncサービスを開始して、Trimble Connectからダウンロードされるファイルを含むフォルダのチェックボックスを選択します。
 - b. ファイルの同期が完了したら、AccessSyncウィンドウにあるチェックボックスを外して連続ファイル転送を無効にします。
2. 現場セッションの終了時点で：
 - AccessSyncサービスを開始して、オフィスに送信されるファイルを含むフォルダのチェックボックスを選択します。

ヒント -AccessSyncサービスは、ファイル送信にWifi、携帯モデム、Windows Mobile Device Center接続など、あらゆる種類のインターネット接続を使用することができます。利用できるバンド幅により、同期速度は異なります。通常Windows Mobile Device Centerのケーブル接続が最も速く、続いてWifi接続、携帯モデムの順となります。最速の転送速度を確保するには、できる限りケーブル接続を使用してください。

Trimble Connectプロジェクトを現場で変更する

AccessSyncサービスは、ログインした際にコントローラで選択した現在のTrimble Connectプロジェクトにファイルを転送します。このプロジェクトを変更するには、再度ログインして適切なプロジェクトを選択します：AccessSync画面で、同期対象となるフォルダ（複数可）を選択します。


コントローラに重複するファイル名があった場合の動作の制御

ファイルがサーバ上で数度にわたって更新されたときは、AccessSyncは、コントローラ上にそのファイルの旧バージョンが存在するかどうか検知し、自動的にダウンロードを一時停止し、コントローラ上に余分なファイルが作成されることを防ぎます。現場ユーザが最新の更新内容を必要とするときは、ダウンロードを再開できます。ファイルの最新バージョンには、より新しいバージョンであることが分かるように、ファイル名に番号が付けられます。

複製ファイルのダウンロードを手動で再開するには：

1. AccessSync画面で、ファイルのステータスカラムの内側をタップします。
2. ファイルの優先順位カラムの内側をクリックしてから、ファイルの優先順位選択します（高、中または低）。優先順位に従ってファイルがダウンロードされます。

不一致時の動作に関するルールを設定するには、下記を行います：

1. AccessSync画面で、ルールを適用したいフォルダに対応するステータス カラムの内側をタップします。
2.  をタップします。
3. ファイル不一致のオプションを定義します。これにより、.fsoxmlファイルが作成され、ファイル不一致オプションを定義している対象フォルダ内に保存されます。

パラメータ	メモ
サブフォルダへの適用	<p>このチェックボックスを選択すると、階層の深度を問わず、サブフォルダ内にダウンロードされるファイルに同じオプションが適用されます。</p> <p>必要な場合には、全サブフォルダに設定を適用してから、特定のサブフォルダ内に、そのサブフォルダを対象とした異なる設定を含む.fsoxmlを作成することができます。サブフォルダ内の.fsoxmlの名前がサブフォルダの名前と一致する限り、その.fsoxml内の設定がそれよりも高いレベルのフォルダで設定された設定内容を上書きします。</p>
ファイル名	<p>オプションが適用されるファイル名を指定します。下記に設定を適用するには：</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべてのファイル。*. *を入力します • 一つの種類のファイルすべて。例えばスタイルファイルの場合、*. styと入力します。 • 特定のファイル。ファイル名と拡張子を入力します。例：「control. csv」。 <p>矢印ボタンを使用し、名前を付けたファイルの順序を変更します。より具体的な項目を先に挙げます。例えば「*. csv」よりも前に「control. csv」を置きます。こうすることで、「ctrl. csv」という名前のファイルに対して具体的なルールを作成してから、さらにその他すべての.csvファイルに対するルールを作成できます。</p>
Manage conflicts by	<p>ダウンロードされたファイルのバージョン付けを制御します。選択：</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>Version new file</i> は、新しくダウンロードされたファイルに対し、現在コントローラ上に保存されているファイルの最も新しいバージョンよりも1つ新しいバージョン番号をつけて保存します。これは初期設定のオプションで、ほかにファイル名に一致するオプションがない場合に適用されます。 • <i>Version old file</i>に設定すると、ファイルの旧バージョンを保持します。既存の古いバージョンのファイルは置き換えられません。バージョン番号には、既存の新しいバージョンのファイルと区別するために「-2」が付与されます。ダウンロードされたファイルのファイル名は変更されません。 • <i>Replace old file</i> は、古いファイルを上書きし、以前の内容

パラメータ	メモ
	は破棄されます。既存のバージョン番号のついたファイルは無視されます。このオプションには注意が必要です。ファイルが突然変更されるとソフトウェアが混乱することがあります。通常は使用中のファイルは上書きされず、警告が表示されますので、ユーザがなんらかの修正措置をとることができます。
Alert on file download	ダウンロード済みまたはコントローラ上に存在し、かつダウンロード可能な新しいバージョンが存在するファイルがある場合のアラートの表示方法を制御します。選択： <ul style="list-style-type: none"> • <i>Count of files</i>は、前回警告が表示されてからダウンロードされた、またはダウンロード可能なファイル数を1つの警告で表示します。これは初期設定のオプションです。
Alert on new file version	<ul style="list-style-type: none"> • <i>Every file</i>に設定すると、ダウンロード済みまたはダウンロード可能な各ファイルについて新たなアラートを表示させます。警告にはファイル名も含まれます。 • <i>None</i>に設定すると、ファイルについてのアラートが一切表示されなくなります。

4. AccessSync画面に戻るには「戻る」をタップします。

メモ -

- *.fsoxml*ファイルがサーバにアップロードされません。
- ファイルのダウンロード時には、*.fsoxml*ファイルが最優先され、データファイルとダウンロード・オプションが同時にフィールドに送られるようになっています。
- ファイルのダウンロード時には、既存の*.fsoxml*ファイルは常に新しい同名の*.fsoxml*ファイルに置き換えられます。これは、*.fsoxml*ファイル内の*Manage conflicts*設定と関係ありません。
- 1つのディレクトリ内に複数の*.fsoxml*ファイルを保存することができますが、*.fsoxml*ファイルによって重複するファイル名に対する動作オプションが異なる場合、どのオプションが使用されるかは予期できません。
- AccessSyncの実行中に、*.fsoxml*ファイルを変更すると、新しいオプションが読み込まれ、以後のすべてのダウンロードに対して実行されます。
- 間違った*.fsoxml*ファイルが読み込まれると、AccessSyncはSystem Filesフォルダ内のTrimble Accessログファイルにメッセージを出力したうえで続行します。エラーによっては、エラーが起こる前のファイル内のいくつかの項目が読み込まれ、使用されることもあります。

クラウドにあるデータを自分のオフィスコンピュータで管理する

オフィスにて、フィールドコントローラからクラウドに同期したデータにアクセスするには以下を使用してください：

- Trimble Connect (ウェブブラウザを使用)
- Trimble Business Center

Trimble Connect Syncを使用して、Trimble Connectとローカルのパソコンにあるフォルダにあるファイルの同期することもできます。

Trimble Connect Webで直接データを管理する

Trimble Connectは、Trimbleがホストし、管理しています。ウェブブラウザを使用して簡単にアクセスすることができます：

Trimble Connectにアクセスするには、<http://connect.trimble.com>を参照してください。お客様のユーザ名（メールアドレス）とパスワードを使用してサインインしてください。さらに詳しい情報につきましては<https://community.trimble.com/community/forums/connect-help>をご参照下さい。

Trimble Connect Webのプロジェクトにあるデータタブを使用して、Trimble Connectからファイルをアップロードしたり、ファイルをダウンロードすることができます。

Trimble Business Centerソフトウェア内からのデータ管理

Trimble Business Centerソフトウェア内で、Trimble Connectからファイルのアップロード、またはダウンロードすることができます。

クラウドにあるファイルを管理する度にTrimble Connectにサインインすることを避けるには、Trimble Business Centerを外部サービスプロファイルとして設定すると常に同じサインイン認証情報を使用することができるようになります。これを行なうには：

1. Trimble Business Center内で、「ファイル」をクリックして「オプション」をクリックします。「一般」フォルダで、「外部サービス - プロファイル」を選択してください。
2. 作成をクリックして、Trimble Connectをサービスとして選択してください。自分のプロフィールに名前を付けたら、OKをクリックしてください。
3. 自分のTrimble Connectサインイン認証情報（メールアドレスとパスワード）を入力して、OKをクリックします。


Trimble Business CenterからTrimble Connectに直接ファイルをインポートするには、**遠隔ファイルを開く**を使用します。Trimble Connectに作成した外部サービスプロファイルを選択したら、プロジェクトまでブラウズしてインポートするファイルを選択してください。

Trimble Business CenterからTrimble Connectに直接ファイルをエクスポートするには、**エクスポート**を使用してください。ファイル名フィールド横にあるクラウドボタンをクリックし、Trimble Connectでファイルをエクスポート先を選択してください。

Trimble Connect Syncを使用してファイルを管理する

Trimble Connect Syncは、コンピュータにインストールするアプリケーションです。Trimble Connectにある複数のプロジェクトとファイルを同期します。個別のフォルダを選択してTrimble Connectと同期することができるほか、ファイルの同期する方向も選択することができます。

Trimble Connect Syncは、Trimble Connectでファイルの管理を簡単に行うえるよう、Windowsと同じ方法でファイルやフォルダを管理できるようになっています。

Trimble Connect Syncをダウンロードするには、<http://connect.trimble.com>にログインしてください。アプリストアアイコンをクリックして、使用しているオペレーションシステムに適合するTrimble Connect Syncバージョンをダウンロードしてください。

さらに詳しい情報につきましては

<https://community.trimble.com/community/forums/connect-help>をご参照下さい。

Trimble Connected Community

Trimble Access Services と Trimble Connected Community

Trimble Connected Communityはウェブベースのサービスで、オンラインのデータ保存場所を提供したり、各団体がインターネットを通じて素早く簡単に情報を共有できるようにする様々なツールを提供します。

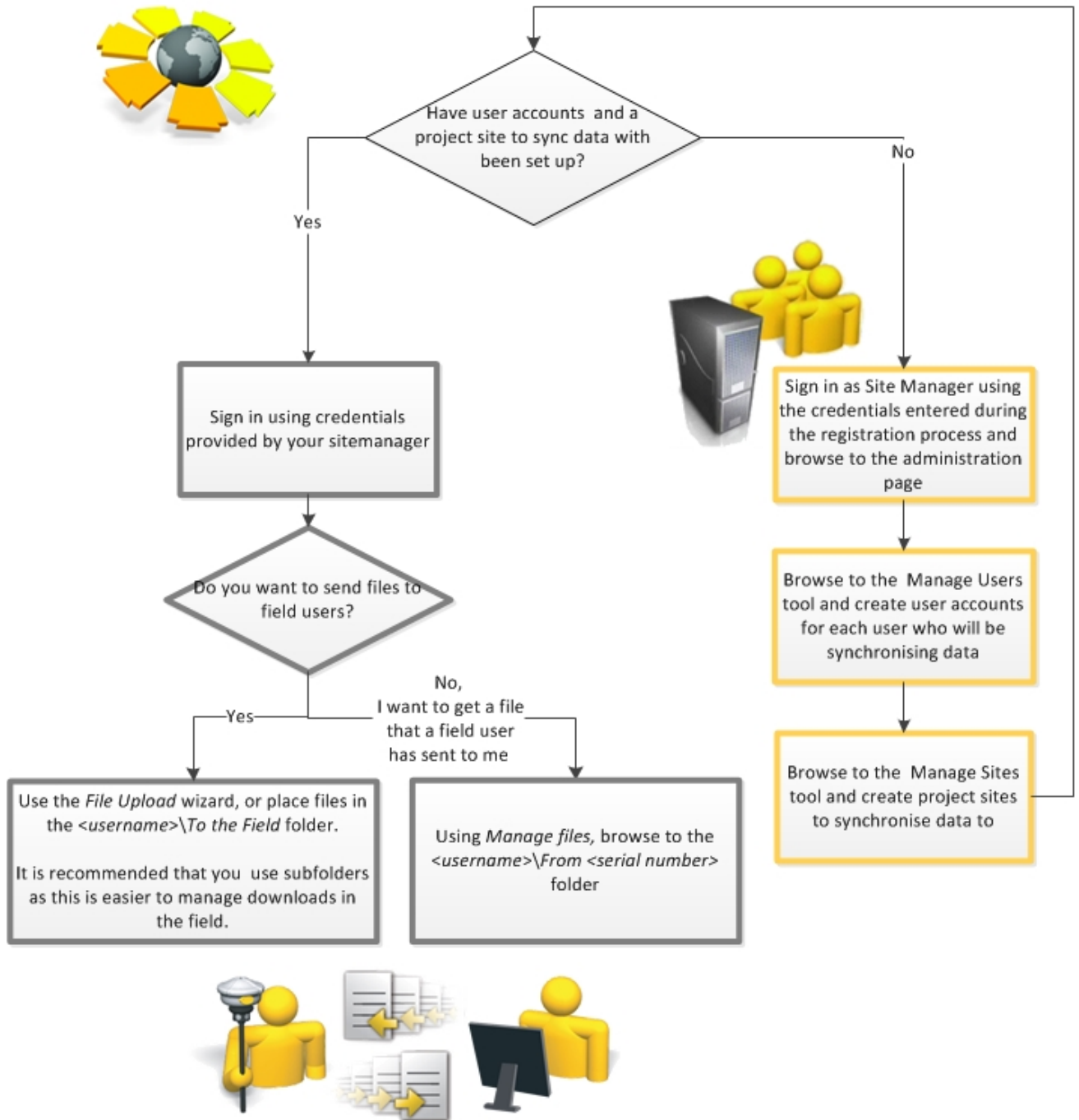
Trimble Connected Communityのトライアル用アクセスを使用している、またはアクセスを購入した事業者は、特有の団体を受け取ります。これによって、サインイン、オンラインデータ保存、団体内の他のユーザとデータの共有などができるようになります。

本章では、Trimble Accessシステムの一部としてTrimble Connected Communityを使用する方法について説明します：

- [Trimble Access Servicesの管理とユーザの役割](#)
- [Trimble Connected Community Organizationの管理](#)
 - サイトの管理
 - ユーザの管理
- [Trimble Connected Community団体の使用](#)
- [Trimble Connected Communityにあるデータを自分のオフィスコンピュータで管理する](#)
詳細に関しては、[Trimble Connected Communityヘルプ](#)を参照してください。

以下の図は、団体のセットアップ取得からAccessSyncを使用してファイルを転送するまでを説明しています。

Getting Started with Trimble Access Services



Trimble Access Servicesの管理とユーザの役割

ベーシックまたはアドバンス Trimble Access Servicesを使用するため、Trimble Connected Communityにサインインする時に重要な2つの役割分担があります：

役割	タスク
Sitemanager (サイト管理者)	この役割は、団体を管理する役割を担います： <ul style="list-style-type: none"> ユーザアカウントの管理 (ユーザの追加、編集、削除など) プロジェクトサイトの管理 (プロジェクトサイトの追加、編集、削除など) プロジェクトサイトのデータのアクセス制限 (AccessSyncを介したアクセスを含む)
ユーザ	<ul style="list-style-type: none"> 現場とオフィスの間でデータの同期 プロジェクトサイトのファイルの管理

メモ -

- Sitemanager (サイト管理者) は、プロジェクトサイトのファイル管理したり、AccessSyncサービスを使用してファイルをサイトに転送することが **できません**。同じ人が管理者とユーザの両方のタスクを行わなければならない場合は、Sitemanager (サイト管理者) アカウントにユーザアカウントを追加作成することが推奨されません。
- Trimble Installation Managerにログインする必要はありませんので、Sitemanager (サイト管理者) 以外のユーザもTrimble Access Servicesをコントローラにインストールすることができます (コントローラのライセンスが有効でなければなりません)。

Trimble Connected Community Organizationの管理

AccessSync サービスでTrimble Connected Community Organizationを設定するには、まずユーザアカウントとサイトの管理方法を知る必要があります。

一般的には、Sitemanager (サイト管理者) ユーザのみが、団体を管理することができます。

Trimble Accessサイト

Trimble Connected Communityサイトはフィールドで使用されるファイルなどのプロジェクト情報をTrimble Access ソフトウェア内で保存します。

AccessSyncサービスを利用するには、AccessSyncプロジェクトサイトをTrimble Connected Communityに設定する必要があります。AccessSyncサービスを利用しているときにファイルが転送される場所となります。

データの構造

プロジェクトサイトをセットアップし、通常作業にあたるプロジェクトの規模や数に適した形にすることができます。オプションは以下の通りです。

- **単独プロジェクトサイト：プロジェクトまたはジョブ1つに対して1つのTrimble Connected Communityサイトを使用**

基本的にはこのオプションは長い期間規模の大きなプロジェクトにあたるユーザに適しています。プロジェクトに割り当てられ各ユーザは、プロジェクト内に自分のフォルダを持ち、そこにデータを保存します。

- **マルチプロジェクトサイト：複数の測量プロジェクトまたはジョブに対して1つのTrimble Connected Communityサイトを使用**

基本的にこのオプションは規模の小さいジョブを数多く行なうユーザに適しています。利点はすべてのフィールドデータが1つのサイトに転送されるということです。このマルチプロジェクトサイトに割り当てられた各ユーザはプロジェクト内に自分のフォルダを持ち、そこにデータを保存します。プロジェクトフォルダがGeneral Surveyアプリケーションで使用される場合、各プロジェクトフォルダはフィールドユーザごとに表示されるので、プロジェクトデータは各フォルダに振り分けられません。

- **ユーザ許可ベースのサイト：同じデータにアクセス許可のあるユーザグループにサイトを作成**

ベーシック Trimble Access Servicesのユーザ許可は簡略化されています。ユーザにサイトへのアクセス許可があれば、他のユーザのデータであったとしても、同じ団体で同じサイトを使用している場合なら、そのサイトに保存されている他のデータにアクセスすることができます。これを行いたくない場合は、異なるサイトをセットアップし、ユーザアクセスを差別化して、そのサイト内の全てのデータにアクセスできる許可のあるユーザのみに許可を与えます。

ヒント

- システムの学習手順を簡素化するため、団体につき1つのTrimble Accessプロジェクトサイトを使用することが推奨されます。1つのサイトで複数のプロジェクトを複数のフォルダで管理することができます。システム使用の経験が増していくに従い、複数のサイトを使用していくとよいでしょう。
- 複数サイトを使用するとき、直接To the Fieldフォルダに保存する代わりに、「現場へ」フォルダにフォルダを作成し、そこにファイルを保存します。そうすることにより、AccessSyncを使用して同期を行うとき、現場で作業する人が正しいファイルセットを選択しやすくなります。

サイトの設定は、データの構築方法などに関らず同じです。

サイトの管理

「Manage Sites (サイトの管理)」は、Sitemanager (サイト管理者) が使用するサービスで以下を行います：



- 新規サイトを作成
- 団体内にある既存の全てのサイトの一覧表示

- サイトにアクセスできるユーザを管理
- サイトの削除

一般的には、Sitemanager（現場管理者）のみが「サイトの管理」にアクセスできます。

AccessSyncと併用する新しいTrimble Access Projectサイトを設定

新規サイトを設定し、AccessSyncサービスでコンポーネントを送信するのに必要な許可を持つコンポーネントを追加するには：

1. 「Manage sites（サイトの管理）」へナビゲートします：
 - Trimble Connected Community内から：
 - a. <http://mytrimbleaccess.com> へブラウザし、Sitemanager（サイト管理者）アカウントでサインインします。更に詳しい情報は、[Accessing Services through the Trimble Connected Community](#)（を介してサービスにアクセス）をご参照下さい。
 - b.  をクリックするか、ウィンドウ最上部で「Manage Sites（サイトの管理）」ページを選択します。
 - Trimble Business Center内から：
 1. 「File（ファイル）」、「TCC」までナビゲートして、「Trimble Access Services」をクリックします。
 2. タイトルバーにある「サインイン」をクリックして、登録時に取得したSitemanager（サイト管理者）の認証情報を使ってサインインします。
メモ - Trimble Business Centerから、Trimble Access Services 認証情報を定義することができるので、サインインするたびに入力する必要はありません。詳しい情報は、[Accessing Services via Trimble Business Center](#)（を介してサービスにアクセス）をご参照下さい。
3. 左側の欄にある  をクリックします。
2. 「現場を追加する」をクリックします。
3. サイトタイトル、短い名前/ID、説明を入力し、「Next（次へ）」をクリックします。
4. 「アクセス許可」欄で、このサイトにアクセス許可のあるユーザを選択します。ユーザにアクセスする権限がある場合は、Trimble Connected Community内とフィールドコントローラ（ログイン画面）からこれを確認することができます。AccessSyncサービスを使用して、コントローラのファイルを同期することができます。
5. サイトを作成するには「Save（保存）」をクリックします。

サイト許可の編集

ユーザにサイトへアクセスできる権限がある場合は、Trimble Connected Community内とフィールドコントローラ（ログイン時）で確認することができます。AccessSync サービスを使用して、コントローラのファイルを同期することができます。ユーザにサイトへアクセスできる権限を与えるには、「Manage Users（ユーザの管理）」または「Manage Sites（サイトの管理）」サービスで「アクセス許可」を選びます。

サイトを作成したら、以下のいずれかの方法で誰がサイトにアクセスできるのか変更することができます：


- サイトの編集を行って、アクセスできるユーザを選択する、または
- ユーザの編集を行って、ユーザがアクセスできるサイトを選択します。

メモ - Trimble Access のアドバンスサービスを購入している場合、サイトへのアクセス許可レベルをよりコントロールすることができます。例えば、サイト、ページ、ファイルスペース、フォーラムやカレンダーなどのギズモごとに許可を定義できます。一般的に、Owner (所有者)、Editor (編集者)、Viewer (閲覧者) などの異なる許可レベルがあります。こういったアドバンス許可は、AccessSyncには必要ありません。アドバンス Trimble Access advanced サービスを購入していたとしても、「Manage Sites (サイトの管理)」と「Manage Users (ユーザの管理)」サービスを使用して許可を管理することが推奨されます。

サイトの削除

サイトの削除を行うとプロジェクトリストからサイトが削除されます。そのサイトに保存される全てのデータにアクセスできなくなります。


サイトを削除するには：

1. 「Manage Sites (サイトの管理)」までナビゲートします。
2. サイト名の横にある  をクリックします。
3. 選択されたサイトを削除してよいかどうか確認する警告が表示されます。このメッセージに対してはいををクリックすると、そのサイトが削除され、そのサイト上に保存されたデータにアクセスできなくなります。

ユーザの管理：組織へのユーザの追加


Trimble Access ServicesとTrimble Connected Communityの各ユーザにはユーザ名が割り当てられ、特定の団体のコンテンツにサインインし、アクセスすることができます。通常、サイト管理者のみが新規ユーザアカウントを作成できます。

新規ユーザのアカウントを作成するには：

1. 「Manage Users (ユーザの管理)」へナビゲートします：
 - Trimble Connected Community内から：
 - a. <http://mytrimbleaccess.com> へブラウザし、Sitemanager (サイト管理者) アカウントでサインインします。更に詳しい情報は、[Accessing services through the Trimble Connected Community \(を介してサービスにアクセス\)](#) をご参照下さい。
 - b.  をクリックするか、ウィンドウ最上部で「Manage Users (ユーザの管理)」ページを選択します。
 - Trimble Business Center内から：

- a. 「File (ファイル)」、「TCC」までナビゲートして、「Trimble Access Services」をクリックします。
- b. タイトルバーにある「サインイン」をクリックして、登録時に取得した Sitemanager (サイト管理者) の認証情報を使ってサインインします。

メモ - Trimble Business Centerから、Trimble Access Services 認証情報を定義することができるので、サインインするたびに入力する必要はありません。詳しい情報は、[Trimble Business Centerソフトウェア内からのデータ管理](#) をご参照下さい。



- c. 左側の欄にある  をクリックします。
2. 「ユーザーを追加する」をクリックして、該当する「ユーザー情報」詳細を入力します。すべてのフィールドが必須です。「次へ」をクリックします。
3. 「Allow Access (アクセス許可)」コラムにあるサイトを選択して、ユーザがアクセスできるサイトを選択します。

ユーザがサインインした時点で最初に表示されるサイトを決定するには、初期設定サイトを選択します。新規ユーザ作成時点でサイトがセットアップされていない場合は、ほかに何もせずに保存をクリックします。

「Manage Users (ユーザの管理)」または「Manage Sites (サイトの管理)」をそれぞれ使用して、ユーザまたはサイトの編集を行えば、ユーザにいつでもサイトへのアクセス許可を与えることができます。

4. 「Save (保存)」をクリックします。新規ユーザはセットアップで入力されたメンバーID、団体名、およびパスワードを使ってログインすることができます。

メモ -

- ユーザ詳細情報を編集する、またはユーザにアクセス許可のあるサイトの表示/変更するには、 をクリックします。
- 組織からユーザを削除するには、 をクリックします。ユーザを削除すると、Trimble Connected Community 団体のアクセスを削除しますが、Trimble Connected Community サイトにある既存のデータフォルダは削除されません。
- Trimble Access高度サービスを購入済みの場合、ナビゲーションパネルのTrimble Connected Community制御機構を使い、ユーザアカウント詳細の作成や変更を行うことも可能です。これら高度な制御機構 (ユーザ役割の定義を含む) の使用は、AccessSyncには不要です。Trimbleでは、Manage Usersサービスを利用してユーザアカウントを管理することをお勧めします。これは、Trimble Accessの高度サービスを購入済みの場合でも同様です。

Trimble Connected Community Organizationの使用

ユーザは、Trimble Access Servicesにサインインすることができる他、以下のことができます：

- 現場とオフィスの間でデータの同期
- プロジェクトサイトのファイルの管理
- パスワードの変更

オフィスでは、ウェブブラウザを介し直接Trimble Connected Communityにサインインするか、Trimble Business Center内でTrimble Access Services経由でサインインすることにより、Trimble Access Servicesやファイルにアクセスできます。ファイルへのアクセスは、TCC Explorerからも可能です。TCC Explorerはデスクトップにインストールされたアプリケーションで、これを使用すると、My ComputerやWindows Explorer経由でTrimble Connected Communityに保存されたフォルダやファイルにアクセスできます。これらオプションに関する詳しい情報は、[Trimble Connected Communityにあるデータを自分のオフィスコンピュータで管理する](#)を参照してください。

ウェブブラウザを使ってTrimble Access Servicesの表示

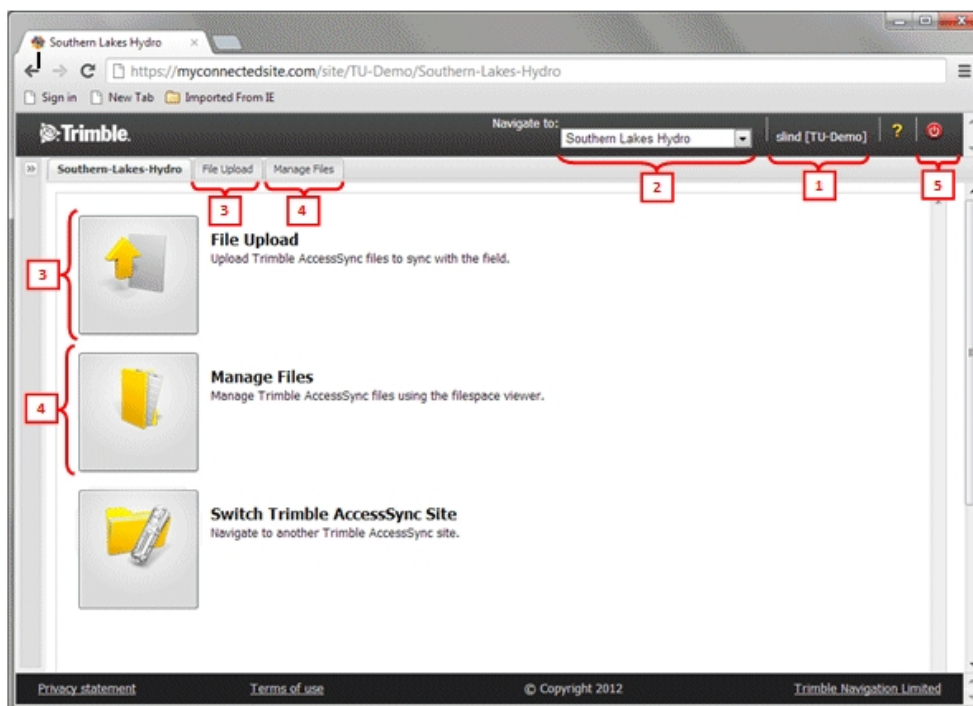
<http://mytrimbleaccess.com>へブラウザして、Sitemanager（サイト管理者）から割り当てられた認証情報を使用してサインインします。

サインインした時に表示されるページは、Sitemanager（サイト管理者）がデフォルトプロジェクトサイトを定義したかどうかにより変わります：

- デフォルトサイトが選択されていない場合、「Trimble Access Services」ページが表示されます。このページでは、Trimble Access Servicesの使用に関する情報とアクセス許可のあるサイトの一覧表が表示されます。

プロジェクトへナビゲートするには、右側最上部にあるドロップダウンリストからプロジェクトサイトを選択するか、一覧表にあるプロジェクトサイトをクリックします。

- デフォルトサイトが定義されている場合は、そのプロジェクトサイトのホームページが表示されます。以下の図では、プロジェクトサイトの様々な機能を説明しています。



項目説明

- 1 ユーザ名と団体

- 2 現在サインインしているサイト。異なるプロジェクトにナビゲートするためには、ドロップダウンリストからプロジェクトサイトを選択します。

- 3 「File Upload(ファイルのアップロード)」ウィザードへナビゲートします。ここでは、一人または複数のユーザを選択できます。現場のユーザにファイルをアップロードします。

- 4 「Manage Files (ファイルの管理)」までナビゲートすると以下のことが行えます：
 - プロジェクトファイルのファイルスペースの表示
 - ファイルのアップロードとダウンロード
 - ユーザ間でファイルの移動


- 5 サインアウト

AccessSyncサービスの使用に関する詳しい情報は、 [AccessSync 概要](#) をご参照下さい。

パスワードの変更

Sitemanager (サイト管理者) は、パスワードの変更ができます。または、その他のユーザのパスワードを「Manage Users (ユーザの管理)」で編集して変更することができます。

自分のパスワードを変更するには：

1. ウェブブラウザを使用してTrimble Connected Communityにサインインする
2.  をクリックして、画面左側にTrimble Connected Communityのナビゲーションパネルを展開します。
3. 「My Settings (マイセッティング)」、「Change My Passwor (パスワードの変更)」の順にクリックします。古いパスワードと新しいパスワードを入力します。

メモ - パスワードを忘れてしまった場合は、<http://mytrimbleaccess.com>へブラウザし「Forgot Password (パスワードを忘れた場合)」リンクをクリックして、古いパスワードをリセットすることができます。 ユーザ名、Trimble Connected Community 団体、メールアドレスを入力します。認証情報が一致すれば、新しいパスワードがメールで送信されます。

AccessSyncとTrimble Connected Community の併用

AccessSync 概要

AccessSyncサービスを使用して、オフィスのTrimble Connected Communityサイトと現場のコントローラとの間でジョブや関連ファイルの転送をします。

AccessSyncサービスは、インターネット接続を使用し、Trimble Accessファイルを転送します。現場では、オンラインモードでシステムにログインし、現在のTrimble Connected Communityプロジェクトサイトを選択して、どこのサーバにファイルを転送するかを定義します。

詳細については、以下を参照してください。

- 現場からオフィスへファイルを転送する
- オフィスから現場へファイルを転送する
- Trimble Connected Communityと Trimbleオフィスソフトウェア間でファイルを送受信する

オフィスから現場のコントローラにファイルを転送する際、一部の種類のファイルは、現場のコントローラで必要なバージョンに自動変換が可能です。

データ転送速度

データの転送速度、および他のネットワークサービスのニーズを考慮する必要があるか選択することができます。オプションは以下の通りです：

- 最小：常に遅い速度でファイルを転送します。リアルタイム測量が固定局データのために接続を使用している場合には、すべてのファイルの転送を保留します。インターネット接続が遅い場合、または速度に制限がある場合にはこれを使用します。
- アダプティブ：インターネット接続が使用されていない場合には、ファイルを中程度の速度で転送し、他のアクティビティと接続を共有している場合は速度を低くします。このモードの動作は、接続のタイプや容量によって変わります。
- 最大：接続の最も速い速度でファイルを転送します。インターネット接続の容量が高帯域幅に対応できない場合には、他の機能も接続を使用していたら、スループットが低下する場合があります。

AccessSyncで使用されるフォルダ構造を理解する

オフィスから現場にAccessSyncを使用してファイルを転送するには、フォルダの構造を理解しておく必要があります。オフィスから現場にファイルを転送するには、ファイルを必ずTrimble Connected Communityの適切なフォルダに保存します。ユーザは、正しいユーザ名でサインインし、正しいサイトにログインしていなければなりません。

Trimble Connected Communityプロジェクトサイト内にあるフォルダ構造は、常に同じです：

- ユーザ名

あるプロジェクトにログインする全てのユーザを含むユーザ名ディレクトリが作成されます。AccessSyncサービスは現場ログイン情報を使用して、現場データを送信する先のユーザフォルダを決定します。

メモ - ファイルはコントローラではなくユーザアカウントに送信されます!

- From <serial number>

コントローラからデータを保存するために From <serial number>にログインすると、「Trimble Access ソフトウェア<シリアル番号>から」フォルダが作成されます。コントローラにある「Trimble Data¥<ユーザ名>」フォルダに保存されている全てのファイルやフォルダは、¥Trimble Data¥<username>にあるフォルダを選択すると同期されます。

複数のコントローラにログインしている場合は、「<シリアル番号>から」フォルダも複数あります。

- To the Field

To the Fieldフォルダは、オフィスから特定の現場ユーザへシステムタイプファイルを送信するのに使用されます。このフォルダにある全てのファイルは、現場ユーザがTrimble Access ソフトウェアにログインすると送信され、適切なフォルダを選択してから同期します。

「現場へ」フォルダにあるファイルは、Trimble Access ソフトウェア (AccessSyncサービスを含む) がインストールされているすべてのコントローラへ送信することができます。複数のコントローラに同じユーザ名でログインしている場合は、それぞれのコントローラにファイルは送信されます。

- System Files

「System Files」フォルダは、オフィスから特定の現場ユーザへシステムタイプファイルを送信するのに使用されます。現場ユーザがTrimble Access ソフトウェアにログインし、「System Files」フォルダを選択してから同期すると、このフォルダにある全てのファイルが送信されます。フォルダにあるファイルは、Trimble Access ソフトウェア (AccessSyncサービスを含む) がインストールされているコントローラすべてに送信することができます。複数のコントローラにログインしている場合は、それぞれのコントローラにファイルは送信されます。

どのファイルがシステムファイルで、コントローラにあるシステムファイルフォルダ内に保存しなければならないかについては、一般測量ヘルプにあるファイル管理 をご参照ください。

メモ - システムファイルを「現場へ」フォルダに直接保存すると、Trimble Access ソフトウェアがシステムファイルを検出してコントローラの適切な場所へ移動します。

- To All Users

オフィスから全てのユーザ（現在のTrimble Connected Communityサイトにログインし、ダウンロードする適切なファイル/フォルダを選択しているユーザ）へファイルを送信するためにTo All Usersフォルダは使用されます。

To All UsersフォルダにあるファイルはTrimble Access ソフトウェアサービス（AccessSyncを含む）がインストールされているすべてのコントローラに送信することができます。複数のコントローラにログインしている場合は、それぞれのコントローラにファイルは送信されます。

- システムファイル

System Filesフォルダはシステムタイプファイルをオフィスから現在のTrimble Connected Communityサイトにログインしているすべてのユーザに送信するために使用したり、同期したいSystem Filesフォルダを選択します。「全てのユーザ」フォルダにあるファイルは、Trimble Access ソフトウェア（AccessSyncサービスを含む）がインストールされているすべてのコントローラへ送信することができます。あるプロジェクトのユーザーが複数のコントローラにログインしている場合は、それぞれのコントローラにファイルは送信されます。

どのファイルがシステムファイルで、コントローラにあるシステムファイルフォルダ内に保存しなければならないかについては、一般測量ヘルプにある[ファイル管理](#)をご参照ください。

メモ - システムファイルを「To All Users」フォルダに直接保存すると、Trimble Access ソフトウェアがシステムファイルを検出してコントローラの適切な場所へ移動します。

オフィスから現場へファイルを転送する

AccessSyncサービスにより、インターネット接続を介してTrimble Connected Communityプロジェクトサイトからコントローラにファイルを転送することができます。

オフィスから現場へのファイルの転送には、オフィスと現場のコントローラの両方で必要な手順があります。

オフィスにて

オフィスから現場にAccessSyncを使用してファイルを転送するには、フォルダの構造を理解しておく必要があります。オフィスから現場にファイルを転送するには、ファイルを必ずTrimble Connected Communityの適切なフォルダに保存します。フォルダの構造の詳細な情報は、[AccessSyncで使用されるフォルダ構造を理解する](#)をご参照下さい。


ファイルを現場に転送するために、まずこのファイルをTrimble Connected Communityの適切なフォルダに保存して、以下のうち1つを実行します：


- **Trimble Connected CommunityまたはTrimble Business Center内で「File Upload (ファイルのアップロード) 」ウィザードを使用する：**

フォルダの構造を熟知していなくても、「File Upload (ファイルのアップロード) 」ウィザードが、ファイルを適切な場所に保存するための手順を説明します。

1. ファイルアップロードウィザードに移動します。これはTrimble Connected Communityから、または該当するプロジェクト現場のTrimble Business Centerからアクセス可能です。さらに詳しい情報は、[Trimble Connected Communityにあるデータを自分のオフィスコンピュータで管理する](#)を参照してください。
2. 「ファイルの選択」をクリックして圃場へ送信したいファイルまでブラウズします。一回で複数のファイルを選択することができます。「次へ」をクリックします。
3. 「Survey Tools (測量ツール) 」サイト内からウィザードにアクセスしている場合、ファイルを送信するプロジェクトサイトを選択してください。
4. ファイルを送信するユーザを選択、またはプロジェクトにいる「全てのユーザ」にファイルを送信します。
5. ファイルを保存するフォルダを選択します。ファイルを圃場へ送信するには、「現場へ」フォルダに保存しなければなりません。通常は、コントローラでファイルの転送を管理するのが簡単になるため、「現場へ」フォルダ内にあるプロジェクトフォルダに保存するのが望ましいです。フォルダは、「新規フォルダ」、「フォルダ名の変更」、「フォルダの削除」ボタンを使って編集することができます。フォルダを編集すると、前の手順で選択された全てのユーザのフォルダの構成を更新します。「次へ」をクリックしてファイルをアップロードします。
6. ファイルがアップロードされると、概要スクリーンが表示されます。「完了」をクリックします。

- **ファイルスペースギズモを使用してファイルを直接Trimble Connected Communityのファイルスペースにアップロードまたはコピーします。**

1. にログインし、ファイルを受信するプロジェクトサイトまで閲覧します。
2. 次のいずれかを実行します：
 - 1人のユーザへファイルを転送する場合は、フォルダ名をそのユーザ名で拡張して、「現場へ」フォルダを選択します。
 - プロジェクトの全てのユーザーにファイルを転送する場合、「全てのユーザー」フォルダを選択します。
3. 次のいずれかを実行します：
 - 1つのファイルを転送する場合は、「アップロードファイル」  を選択し、転送したいファイルまでブラウズします。

- 複数のファイルを転送するには、を選択し、FTP実行ファイルをダウンロードします。実行ファイルをダウンロードし、実行すると、ブラウザのウィンドウを開いて直接複数ファイルをコピーすることができます。
- **Trimble Connected Community Explorerを使用してTrimble Connected Communityのファイルスペースにファイルをアップロードまたはコピー**
 1. ウィンドウズ・エクスプローラでTrimble Connected Community Explorerへ移動し、ファイルを送信するプロジェクトフォルダへ移動します。
 2. 次のいずれかを実行します：
 - 1人のユーザーへファイルを転送する場合は、フォルダ名をそのユーザー名で拡張して、「現場へ」フォルダを選択します。
 - プロジェクトの全てのユーザーにファイルを転送する場合、「全てのユーザー」フォルダを選択します。
 3. 送信するファイルまたはフォルダをコピーして貼り付けます。

- **電子メールでTrimble Connected Communityのファイルスペースにファイルを直接送信**

メモ - この機能は、アドバンス Trimble Access Servicesを購入したユーザのみが利用できます。

1. [管理 / ファイルスペース管理]を選択します。
2. リストの中から適切なファイルスペースを探し、[ファイルスペース編集]アイコン(鉛筆)をクリックします。
3. [メール]タブから[このファイルスペースへのメールを有効化する]を選択します。
4. 次のタイトルがついた電子メールアドレスをメモします：「添付ファイル（既存のファイル）を保存するだけの場合はこのアドレスを使用する」。これがこのファイルスペースへの電子メールに使用するベース電子メールアドレスとなります。

ヒント：ファイルスペースへのファイルの送信者を制限するには、受信を許可する送信元のメールアドレスを「次の送信者からの電子メールのみを受信する」のボックスの中に入れます。各メールアドレスは、別の行に入力して下さい。アスタリスクをワイルドカードとして使用することもできます。例えば、「*@mycompanydomain.com」は、「@mycompanydomain.com」で終るメールアドレスのユーザならだれでも許可されます。

5. 「保存」を選択します。

ヒント

- メールアドレスの中で、空白のあるファイル名のフォルダがあるときには（「To All Users」など）、「%20」を入れて空白を埋めて下さい。
- AccessSyncサイトが使用するファイルスペース名は次のようにして特定できます：

- ご使用のウェブブラウザから適切なAccessSyncサイトにナビゲートしてTrimble Connected Communityへログインする。
 - 「すべてのファイル」ページを選択
 - ファイルスペースギズモで、ギズモオプションの設定をクリック
 - 「My organization (私の組織)」タブをクリック (選択されていない場合)
 - ファイルスペースギズモが関連付けられているファイルスペースの名前がハイライトされます。
- 4番目の手順でメモしたメールアドレスに送信するとファイルはファイルスペースに送られます。しかし、Trimble Connected Communityにログインせずに特定のユーザや「すべてのユーザ」宛にファイルを送り、ファイルを適切なフォルダに移す場合は、アドレスを変更して下さい。

アドレスフォーマットは:

<tcc組織略称>.<ファイルスペース>.<サブフォルダ>@tccattachments.com

例えば、ファイルスペース名が「northernroad」で会社名のTrimble Connected Community略称が「southernsurveys」の場合は:

- 「すべてのユーザ」にファイルを送るには、「southernsurveys.northernroad.To%20All%20Users@tccattachments.com」宛に送ります。
- 「bsmith」というIDのメンバーに送るには、「southernsurveys.northernroad.bsmith.To%20the%20Field@tccattachments.com」に送ります。

現場にて

1. [Trimble Access ソフトウェアにログインします。](#) AccessSync サービスが正しく設定されているか確認するには:
 - 「TCC」ログインモードを選択します。
 - 正しいTrimble Connected Communityユーザー名 (メンバーID) とパスワードを使用します。
 - 適切なTrimble Connected Community現場を選択します。これによりファイルが同期される場所を決定します。
2. コントローラで AccessSync サービスを開始します。

AccessSyncサービスは、表の形式でファイル転送進捗状況を表示します。詳細は下の表の通りです。

コラ 説明 ム

フォ コントローラにあるフォルダ名を Trimble Connected Communityと同期するこ
ルダ ともできます。

名 以下の名前が表示されます:

- <username>
- System Files
- <username>フォルダを含むプロジェクトフォルダ

フォルダ名の左側にあるチェックボックスは、フォルダの同期状況を示しま
す。より詳しい情報は、以下の表手順5をご参照ください。

状況 ファイル転送処理の追加情報を表示します。

以下のいずれかのステータスが表示されます:

- 「アイドル」は、転送するファイルがないか、フォルダが同期用に選択
されていないことを示します。
- 「x / y」は、y 個のファイル中、x 個のファイルが転送されたことを示
します。

ステータスをタップし、転送中の個々のファイルのリスト表示を見ます。上
下矢印は、ファイルが送信されるか受信されるかを示します。上向きの矢印
は、ファイルがTrimble Connected Communityに送信される必要があることを示
し、下向きの矢印はTrimble Connected Communityからダウンロードする必要が
あることを示します。

優先覧をタップして、送受信するファイルを選択し、送受信の優先順位を決
めます。または、全てのファイル優先順位を変更することもできます。

TCC Trimble Connected Communityサイトのファイル送信先と送信元。
サイ
ト

現在の転送状況を示すために、表内の列ごとに色が変わります:


- 緑は、フォルダが同期され、ほかの変更など転送するものないことを示しま
す。
 - 赤は、1つ以上のファイルの転送に問題があることを示します。
3. 必要に応じ、各フォルダのチェックボックスを設定します。複数の送信対象ファイ
ルが一つのフォルダに入っているときは、そのフォルダはフォルダの一覧内に表示
されます。それ以外の場合、ファイルはユーザ名のフォルダに送信されます。各
チェックボックスの状態表示は3通りあります:

状況 同期作業

- フォルダにあるファイルは、現在のTrimble Connected Communityサイトと同期されます。
 これらのファイルの同期を中断するには、このチェックボックスをタップします。

- フォルダにあるファイルは現在のTrimble Connected Communityサイトに **同期されません**。
 このファイルの転送を開始するには、このチェックボックスをタップします。

- 現在のTrimble Connected Communityサイトに割り当てられていないため、フォルダにあるファイルは **同期されません**。
 現在のTrimble Connected Communityサイトにファイルを割り当てるには、このチェックボックスをタップします。

4. **データ転送速度**を変更するには、をタップします。

タスクバーの **情報警告** が新しいファイルがコントローラに転送されたことを表示します。

メモ

- 一度設定されると、AccessSyncサービスは、コントローラにある選択されたプロジェクトフォルダのファイルを現在のTrimble Connected Communityサイトと30秒毎に比較します。もしコントローラにあるファイルがTrimble Connected Communityサイトになかったり、ファイルが異なったりした場合は、コントローラから変更がアップロードされます。
- 特定フォルダやサブフォルダに対し、AccessSync内からファイル不一致オプションを設定できます（コントローラ上のファイルバージョン付けや上書き設定など）。詳しくは、[コントローラに重複するファイル名があった場合の動作の制御](#)参照してください。
- 選択されたシステムとプロジェクトフォルダに含まれるファイルのすべてが現在のTrimble Connected Communityサイトからコントローラに転送されます。
- インターネットに接続されていない場合は、接続された時に転送されます。
- インターネット接続によりGPS補正情報を受信している場合、GPS補正情報はファイルのアップロードより優先されます。

コントローラに重複するファイル名があった場合の動作の制御


ファイルがサーバ上で数度にわたって更新されたときは、AccessSyncは、コントローラ上にそのファイルの旧バージョンが存在するかどうか検知し、自動的にダウンロードを一時停止し、コントローラ上に余分なファイルが作成されることを防ぎます。現場ユーザが最新の更新内容を必要とするときは、ダウンロードを再開できます。ファイルの最新

バージョンには、より新しいバージョンであることが分かるように、ファイル名に番号が付けられます。

複製ファイルのダウンロードを手動で再開するには:

1. AccessSync画面で、ファイルのステータスカラムの内側をタップします。
2. ファイルの優先順位カラムの内側をクリックしてから、ファイルの優先順位選択します（高、中または低）。優先順位に従ってファイルがダウンロードされます。

不一致時の動作に関するルールを設定するには、下記を行います:

1. AccessSync画面で、ルールを適用したいフォルダに対応するステータス カラムの内側をタップします。
2.  をタップします。
3. ファイル不一致のオプションを定義します。これにより、.fsoxmlファイルが作成され、ファイル不一致オプションを定義している対象フォルダ内に保存されます。

パラメータ	メモ
サブフォルダへの適用	<p>このチェックボックスを選択すると、階層の深度を問わず、サブフォルダ内にダウンロードされるファイルに同じオプションが適用されます。</p> <p>必要な場合には、全サブフォルダに設定を適用してから、特定のサブフォルダ内に、そのサブフォルダを対象とした異なる設定を含む.fsoxmlを作成することができます。サブフォルダ内の.fsoxmlの名前がサブフォルダの名前と一致する限り、その.fsoxml内の設定がそれよりも高いレベルのフォルダで設定された設定内容を上書きします。</p>
ファイル名	<p>オプションが適用されるファイル名を指定します。下記に設定を適用するには:</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべてのファイル。*.*を入力します • 一つの種類のファイルすべて。例えばスタイルファイルの場合、*.styと入力します。 • 特定のファイル。ファイル名と拡張子を入力します。例: 「control.csv」。 <p>矢印ボタンを使用し、名前を付けたファイルの順序を変更します。より具体的な項目を先に挙げます。例えば「*.csv」よりも前に「control.csv」を置きます。こうすることで、「ctrl.csv」という名前のファイルに対して具体的なルールを作成してから、さらにその他すべての.csvファイルに対するルールを作成できます。</p>
Manage conflicts by	<p>ダウンロードされたファイルのバージョン付けを制御します。選択:</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>Version new file</i> は、新しくダウンロードされたファイルに対し、現在コントローラ上に保存されているファイルの最も新しいバージョンよりも1つ新しいバージョン番号をつけて保存します。これは初期設定のオプションで、ほかにファイル

パラメータ	メモ
	<p>名に一致するオプションがない場合に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>Version old file</i>に設定すると、ファイルの旧バージョンを保持します。既存の古いバージョンのファイルは置き換えられます。バージョン番号には、既存の新しいバージョンのファイルと区別するために「-2」が付与されます。ダウンロードされたファイルのファイル名は変更されません。 • <i>Replace old file</i> は、古いファイルを上書きし、以前の内容は破棄されます。既存のバージョン番号のついたファイルは無視されます。このオプションには注意が必要です。ファイルが突然変更されるとソフトウェアが混乱することがあります。通常は使用中のファイルは上書きされず、警告が表示されますので、ユーザがなんらかの修正措置をとることができます。
Alert on file download	<p>ダウンロード済みまたはコントローラ上に存在し、かつダウンロード可能な新しいバージョンが存在するファイルがある場合のアラートの表示方法を制御します。選択:</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>Count of files</i>は、前回警告が表示されてからダウンロードされた、またはダウンロード可能なファイル数を1つの警告で表示します。これは初期設定のオプションです。
Alert on new file version	<ul style="list-style-type: none"> • <i>Every file</i>に設定すると、ダウンロード済みまたはダウンロード可能な各ファイルについて新たなアラートを表示させます。警告にはファイル名も含まれます。 • <i>None</i>に設定すると、ファイルについてのアラートが一切表示されなくなります。

4. AccessSync画面に戻るには「戻る」をタップします。

メモ -

- *.fsoxml*ファイルがサーバにアップロードされません。
- ファイルのダウンロード時には、*.fsoxml*ファイルが最優先され、データファイルとダウンロード・オプションが同時にフィールドに送られるようになっています。
- ファイルのダウンロード時には、既存の*.fsoxml*ファイルは常に新しい同名の*.fsoxml*ファイルに置き換えられます。これは*.fsoxml*ファイル内の*Manage conflicts*設定と関係ありません。
- 1つのディレクトリ内に複数の*.fsoxml*ファイルを保存することができますが、*.fsoxml*ファイルによって重複するファイル名に対する動作オプションが異なる場合、どのオプションが使用されるかは予期できません。
- AccessSyncの実行中に*.fsoxml*ファイルを変更すると、新しいオプションが読み込まれ、以後のすべてのダウンロードに対して実行されます。
- 間違った*.fsoxml*ファイルが読み込まれると、AccessSyncはSystem Filesフォルダ内のTrimble Accessログファイルにメッセージを出力したうえで続行します。エラーによっては、エラーが起こる前のファイル内のいくつかの項目が読み込まれ、使用されることもあります。

現場からオフィスへファイルを転送する

AccessSyncサービスにより、インターネット接続を介して現場にあるコントローラからTrimble Connected Communityプロジェクト現場にファイルを転送することができます。

1. Trimble Access ソフトウェアを開始します。
2. コントローラにある Trimble Access インターネット設定 ツールを使用してインターネット接続を設定します。
3. [Trimble Access ソフトウェアにログインします](#)。AccessSync サービスが正しく設定されているか確認するには：
 - 「TCC」ログインモードを選択します。
 - 正しいTrimble Connected Communityユーザー名（メンバーID）とパスワードを使用します。
 - 適切なTrimble Connected Community現場を選択します。これによりファイルが同期される場所を決定します。
4. コントローラでAccessSyncサービスを開始し、同期するフォルダを選択します。

AccessSyncサービスは、表の形式でファイル転送進捗状況を表示します。詳細は下の表の通りです。

コラム

フォントローラにあるフォルダ名を Trimble Connected Communityと同期するフォルダともできます。

以下の名前が表示されます:

- <username>
- System Files
- <username>フォルダを含むプロジェクトフォルダ

フォルダ名の左側にあるチェックボックスは、フォルダの同期状況を示します。より詳しい情報は、以下の表手順5をご参照ください。

状況 ファイル転送処理の追加情報を表示します。

以下のいずれかのステータスが表示されます:

- 「アイドル」は、転送するファイルがないか、フォルダが同期用に選択されていないことを示します。
- 「x / y」は、y 個のファイル中、x 個のファイルが転送されたことを示します。

ステータスをタップし、転送中の個々のファイルのリスト表示を見ます。上下矢印は、ファイルが送信されるか受信されるかを示します。上向きの矢印は、ファイルがTrimble Connected Communityに送信される必要があることを示し、下向きの矢印はTrimble Connected Communityからダウンロードする必要があることを示します。

優先一覧をタップして、送受信するファイルを選択し、送受信の優先順位を決めます。または、全てのファイル優先順位を変更することもできます。

TCC サイト Trimble Connected Communityサイトのファイル送信先と送信元。

現在の転送状況を示すために、表内の列ごとに色が変わります:

- 緑は、フォルダが同期され、ほかの変更など転送するものがないことを示します。
 - 赤は、1つ以上のファイルの転送に問題があることを示します。
5. 必要に応じ、各フォルダのチェックボックスを設定します。複数の送信対象ファイルが一つのフォルダに入っているときは、そのフォルダはフォルダの一覧内に表示されます。それ以外の場合、ファイルはユーザ名のフォルダに送信されます。各チェックボックスの状態表示は3通りあります:

状況 同期作業



フォルダにあるファイルは、現在のTrimble Connected Communityサイトと同期されます。

これらのファイルの同期を中断するには、このチェックボックスをタップします。




フォルダにあるファイルは現在のTrimble Connected Communityサイトに **同期されません**。


このファイルの転送を開始するには、このチェックボックスをタップします。



現在のTrimble Connected Communityサイトに割り当てられていないため、フォルダにあるファイルは **同期されません**。

現在のTrimble Connected Communityサイトにファイルを割り当てるには、このチェックボックスをタップします。

6. **データ転送速度**を変更するには、をタップします。

7. **最大アップロード可能サイズ**を変更するには、をタップします。

注 - 初期設定では、AccessSyncはサイズが8 MBを超えるファイルは送信しません。タブレットを使用の際は、最大アップロード可能サイズを256 MBまで増やすことができます。

8. サイトにあるファイルがアップロードされたり、更新されたりした時には、Trimble Connected Communityを設定して他のユーザーへ電子メールすることができます。

メモ

- 一度設定されると、AccessSyncサービスは、コントローラにある選択されたプロジェクトフォルダのファイルを現在のTrimble Connected Communityサイトと30秒毎に比較します。もしコントローラにあるファイルがサイトになかったり、ファイルが異なったりした場合は、コントローラから変更がアップロードされます。
- 選択されたプロジェクトフォルダにある全てのファイルは、コントローラから現在のTrimble Connected Communityサイトに転送されます。
- 「システムファイル」フォルダにある*.fxlファイル、*.rtdファイル、*.logファイルのみ、コントローラからTrimble Connected Communityに転送されます。
- インターネットに接続されていない場合は、接続された時に転送されます。
- インターネット接続によりGPS補正情報を受信している場合、GPS補正情報はファイルのアップロードより優先されます。
- オフィスから現場のコントローラに送信するデータ量には制限はありません。
- AccessSyncファイルのより詳しい転送履歴を見るには、「履歴」ソフトキーをタップします。
- 表のデータを並べ替えるには行の見出しをタップします。

一日を通して連続的にデータをアップロードする必要がない場合は、ファイル転送処理を最適化することができます：

1. 現場セッションの開始時点で：
 - a. AccessSyncサービスを開始して、Trimble Connected Communityからダウンロードされるファイルを含むフォルダのチェックボックスを有効にします。
 - b. ファイルの同期が完了したら、AccessSync ウィンドウにあるチェックボックスを外して連続ファイル転送を無効にします。
2. 現場セッションの終了時点で：
 - a. AccessSyncサービスを開始して、オフィスに送信されるファイルを含むフォルダのチェックボックスを有効にします。

ヒント -AccessSyncサービスは、ファイル送信にWifi、携帯モデム、Windows Mobile Device Center接続など、あらゆる種類のインターネット接続を使用することができます。利用できるバンド幅により、同期速度は異なります。通常Windows Mobile Device Centerのケーブル接続が最も速く、続いてW i f i接続、携帯モデムの順となります。最速の転送速度を確保するには、できる限りケーブル接続を使用してください。

Trimble Connected Communityサイトを現場で変更する

The AccessSyncサービスは、ログインした際にコントローラで選択した現在の Trimble Connected Communityサイトにファイルを転送します。このサイトを変更するには、再度ログインして適切なサイトを選択します：


1. Trimble Access ソフトウェアを開始します。
2. コントローラにある Trimble Access インターネット設定 ツールを使用してインターネット接続を設定します。
 - 「オンライン」ログインモードを選択します。
 - 正しいTrimble Connected Communityユーザー名（メンバーID）とパスワードを使用します。
 - 適切なTrimble Connected Community現場を選択します。これによりファイルが同期される場所を決定します。
3. コントローラで AccessSync サービスを開始します。
4. 同期モードのチェックボックスは、ファイルが新規サイトに割り当てられていないことを示します。チェックボックスをタップして、プロジェクトを現在のサイトに割り当てます。
5. 同期モードのチェックボックスをタップして、新規 Trimble Connected Communityサイトへファイルの転送を開始します。

オフィスで通知をセットアップする

Trimble Connected Communityファイルスペース・ビューワのギズモを設定して特定のユーザやアドレスに電子メールを送り、ファイルの新規作成、変更、削除などを知らせることができます。

この設定は、AccessSyncサービスを使用してフィールドから送られてくるファイルをオフィスで待っている人にとっては特に便利です。



通知をセットアップするには以下を行ないます:

1. Trimble Accessプロジェクトサイトまでブラウザします。
2. 通知メールを受信したい時を決めます:
 - プロジェクト内のユーザが変更を行なった場合は、「ファイルスペース・ビューワ」 Gizmoの中の最も高いレベルを選びます。
 - プロジェクト内の個人ユーザが変更を行なった場合は、ファイルスペース・ビューワのGizmo内にある〈ユーザ名〉フォルダを選びます。
3. 通知アイコン  をクリックします。
4. 「通知の追加」を選び、新規通知作成のウィザードに従います:
5. ステップ1: 通知メールが作成される時間を決める情報を入力します:
 - ファイル名パターンを入力します。
 - すべてのファイルには「*」
 - 特定の種類のファイルすべてには「*.<ファイル拡張子>」。例えば、ジョブファイルを受信したときに通知を受け取るには、一般測量「*.job」を入力します。
 - 特定のファイルには、ファイル名と拡張子を入力します。例:
「ProjectA.job」。
 - 特定の機能が表示されない、または使用できない場合には、許可がない可能性があります。サイトマネージャから許可を得てください。
 - [このフォルダ内のすべてのフォルダに適用]を選択し、フォルダシステム内のすべてのファイルから通知メールが作成されるようにします。
6. 「次へ」をクリックします。
7. ステップ2: 受信者情報を入力し、通知メールが誰に送信されるかを指定します:
 - 「メンバーの追加」は、ユーザプロフィールに保存されているメールアドレスを使用して、Trimble Connected Community内のユーザに通知メールを送信します。
 - 「グループの追加」は、個々のユーザプロフィールに保存されたメールアドレスを使用してTrimble Connected Community内に予め設定されたユーザグループに通知メールを送信します。
 - 「電子メールの追加」を使用すると、メールアドレスを入力することができます。
8. 「次へ」をクリックします。
9. ステップ3: 件名欄と本文に入力を行ない、通知メールの内容を作成します。ファイルの特定の情報を自動的に作成する変数を入力することもできます:
 - 「%filename%」 は変更されたファイルの名前を表示します。
 - 「%folder%」 はそのファイルが入っているフォルダ名を表示します。

- 「%contents%」はファイルのコンテンツを表示します。
- 「%link%」はファイルへのリンクを表示します。

10. 「終了」をクリックします。

メモ -

-  は、そのフォルダの通知が設定されたことを表します。
- 受信者は、スパムフィルタを更新し、notifications@myconnectedsite.comからの通知を受信できるようにする必要があります。
- 特定のフォルダに複数の通知をセットアップすることもできます。
- 通知メールの詳細を編集するには、通知が設定されているフォルダを反転表示し、 を選んでから対象となる通知の「編集」または「削除」を選びます。

Trimble Connected Communityにあるデータを自分のオフィスコンピュータで管理する

Trimble Connected Communityに保存されたファイルは、以下を使ってアクセス可能です：

- Trimble Connected Community (ウェブブラウザを使用)
- Trimble Business Center

TCC Explorerは、ユーザのローカルコンピュータにあるマイコンピュータまたはウィンドウズ エクスプローラを使ってTrimble Connected Communityに保存されているファイルにアクセスすることにも使用できます。

メモ - Trimble Access ソフトウェアからデータをインポートするには、Trimble オフィス・ソフトウェアがインストールされているコンピュータのインストールマネージャから、「オフィスアップデート」をインストールします。

直接Trimble Connected Communityを通してデータを管理する

Trimble Connected Communityは、Trimbleがホストし、管理しています。以下のウェブブラウザを使用して簡単にアクセスすることができます：


- Internet Explorerバージョン7.0以降
- Mozilla Firefoxバージョン3.0以降
- Safariバージョン3.1.2以降


Trimble Connected Communityにアクセスするには、<http://mytrimbleaccess.com>を開きます。登録時に提供されたユーザ名、団体名、パスワードを使用してサインインします。

Trimble Connected Community団体をお持ちでない場合、またはサインインせずにTrimble Connected Communityを介して提供される無償サービスのいずれかにすばやくアクセスする場合は、サインインするページ(<http://mytrimbleaccess.com>)にあるSurvey Tool (測量ツール) ボタンをクリックします。

ジョブファイルを開くには、Trimble Connected Communityにある.jobファイルまたは.jxlファイルまでブラウズし、そのファイルをダブルクリックします。プログラムで開くを

選択し、ブラウザをクリックして該当するソフトウェアを選択します。ソフトウェアが起動し、選択したファイルが開きます。

ファイルをダウンロードするには、ファイルを選択し、さらに「選択されたファイルのダウンロード」をクリックします。コンピュータにファイルを保存し、さらに該当するTrimbleオフィスソフトウェアを使ってファイルを開きます。

複数のファイルをダウンロードするには、を選択してFTP実行ファイルをダウンロードします。ファイルを実行してブラウザウィンドウを開きます。必要なファイルを選択してローカルにコピーします。該当のTrimbleオフィスソフトウェアを使用してファイルを開きます。

Trimble Business Centerソフトウェア内からのデータ管理

ウェブブラウザでアクセスした同じサービスがTrimble Business Centerを介してアクセスすることもできます。

Trimble Business Center内からTrimble Access Servicesにアクセスするためには：

1. リボンユーザーインターフェースを使用し、「ファイル」をクリックした後、「TCC」をクリックします。Trimble Access Servicesオプションを選択します。
2. 利用可能な無料サービスを選択するには、左側の欄にある適当なボタンをクリックするか、タイトルバーにあるドロップダウンメニューから「サインイン」をクリックして、Trimble Connected Community認証情報を入力すると他のサービスが有効になります。

ヒント -Trimble Access Servicesにアクセスするたびにサインインする手間を省くには、Trimble Business Centerをセットアップして常に同じ認証情報を使用するようにします。これを行うには：

1. Trimble Business Center内で、「ファイル」をクリックして、「オプション」をクリックします。「一般」フォルダで「外部サービス」を選択します。
2. ユーザ名、団体名、パスワードを入力します。

一般的には、Trimble Business Center内のTrimble Access Servicesのレイアウトは、基本的にウェブブラウザを介してサービスにアクセスするレイアウトと同じです。

注 - Trimble Connected Communityから直接Trimble Business Centerにファイルをインポートするときは、「遠隔ファイルを開く」を使います。詳細に関しては、Trimble Business Centerヘルプを参照してください。

TCC Explorerを使ったデータ管理

TCC Explorerは、ユーザのローカルコンピュータにあるマイコンピュータやウィンドウズエクスプローラでTrimble Connected Communityにある団体ファイルとフォルダ構造を、Microsoft Windows Vista、Windows 7、Windows 8 オペレーティングシステムで使用するためのプラグインです。TCC Explorer は、ユーザがWindowsと同じ方法でファイルやフォルダを管理できるようになり、Trimble Connected Communityでのファイルやフォルダのナビゲーションする操作性が大幅に向上されました。

TCC Explorer は、ローカルコンピュータにある選択されたフォルダとTrimble Connected Communityで選択されたファイルスペース/フォルダの自動同期を可能にします。TCC Explorer は、最大10ペアのフォルダまで同期することができます。

TCC Explorer は、Trimble Installation Managerを使用してインストールすることができます。

Trimble Connected Community Explorerでフォルダを同期するよう設定するには：

1. ウィンドウズ エクスプローラで、データを同期するフォルダを選択します。
2. フォルダを右クリックして、TCC Explorer を選択して以下のいずれかを選択します：
 - 「双方向の同期：フォルダとTCCファイルスペース」：このフォルダは、TCCに選択されているファイルスペースをミラーリングします。これは、TCCからローカルフォルダにファイルをコピーして、ローカルフォルダからもファイルをコピーしてTCCをバックアップします。
 - 「一方向の同期：TCCからローカルのみ」：このオプションでは、TCCファイルスペースへバックアップするためにローカルファイルをコピーしません。
3. ファイルスペース、またはファイルスペースにある同期したいフォルダを選択してください。
4. 「ファイルスペースへ同期 (Sync to Filespace)」をクリックします。

Access Drive を使用してドライブからにあるデータを表示します。Trimble オフィスソフトウェアで、そのファイルを開くまたはインポートし、表示されているドライブまでブラウズします。（初期設定ではW:¥ drive）

Windows Explorerで、TCC Explorerまでブラウズし、さらにインポート対象となるファイルを選択します。オフィスソフトウェアにこれらのファイルをドラッグアンドドロップします。

ファイル変換

旧Trimble Accessファイルの最新バージョンへの変換

下記の方法を使い、Trimble Access ソフトウェアスイート内で旧ジョブ (*.job) および測量スタイル (*.sty) ファイルを変換できます:

- 自動ファイル変換
- 手動ファイル変換
- アップグレード中のファイル変換

詳細に関しては、Trimble Installation Managerヘルプを参照してください。

自動ファイル変換

オフィスから現場のコントローラへAccessSyncサービスを利用してファイルを送信する場合、ファイルのタイプによってはコントローラに必要なバージョンに自動変換されるものがあります。このサービスを利用するには有効なAccessSyncライセンスが必要です。

自動ファイル変換はいわば「舞台裏」で行なわれます。このサービスを活用するには、変換が必要なファイルをTrimble Connected Communityプロジェクトサイト内の適切なフォルダにコピーし、AccessSyncサービスを使用して現場に送信するだけです。

転送中に自動変換されるのは以下のタイプのファイルです:

ファイルのタイプ	ファイル拡張子	変換前のバージョン
Trimble Accessジョブファイルで次のアプリケーションが使用するファイル: <ul style="list-style-type: none"> 一般測量 道路 トンネル 採掘鉞 パイプライン 	*.job	Trimble Access システムのバージョン1.0.0以降
Trimble Accessテンプレートファイル	*.jot	Trimble Accessシステムバージョン1.5.0以降
Trimble Access 測量スタイルファイル	*.sty	Trimble Access システムのバージョン1.0.0以降
Trimble Survey Controllerのジョブファイル	*.job	Trimble Survey Controller ソフトウェアのバージョン11.00以降
Trimble Survey Controllerの測量スタイルファイル	*.sty	Trimble Survey Controller ソフトウェアのバージョン11.00以降

コントローラが対応していないバージョンが送られたり、ファイル変換ができなかったり（ジョブファイルが破損していた場合など）すると、元のファイルがそのまま送られます。変換されていないジョブを開こうとすると、そのバージョンには対応していないというエラーメッセージが表示されます。

メモ

- ファイルは、現場のコントローラに Trimble Access システムのバージョン1.4.0以降が搭載されている場合にのみ変換されます。
- ファイルは、Trimble Connected Communityの 現場へ フォルダかサブフォルダ、または 全てのユーザへ フォルダかサブフォルダに保存されている場合にのみ変換されます。

手動ファイル変換


手動ファイル変換は無償で利用できるサービスで、Trimble Connected Community内にあります。ジョブまたは測量スタイルファイルをTrimbleがホストするサーバにアップロードし、変換後のバージョンを選び、ローカルPCに保存するか、またはTrimble Connected Community団体に直接保存して現場に送信します。新しいバージョンに変更可能なファイルタイプは下表の通りです。しかしこのサービスを利用してジョブを古いバージョンに戻すことはできません。

ファイルのタイプ	ファイル拡張子	変換前のバージョン
Trimble Accessジョブファイルで次のアプリケーションが使用するファイル: <ul style="list-style-type: none"> 一般測量 道路 トンネル 採掘鉞 	*.job	Trimble Access システムのバージョン1.0.0以降
Trimble Accessテンプレートファイル	*.jot	Trimble Accessシステム、バージョン1.5.0以降
Trimble Access 測量スタイルファイル	*.sty	Trimble Access システムのバージョン1.0.0以降
Trimble Survey Controllerのジョブファイル	*.job	Trimble Survey Controller ソフトウェアのバージョン11.00以降
Trimble Survey Controllerの測量スタイルファイル	*.sty	Trimble Survey Controller ソフトウェアのバージョン11.00以降

手動ファイル変換

手動ファイル変換サービスを利用するには:

1. 手動「ファイル変換」サービスに移動します:

- <http://mytrimbleaccess.com>へブラウザし、「Survey Tools (測量ツール)」エリアまでナビゲートします。Trimble Connected Community 団体がなくてもこのエリアにアクセスすることができます。Trimble Connected Community 団体がある場合、追加ツールにアクセスすることができます。
- Trimble Business Center内から:
 1. 「ファイル (File)」までナビゲートして、「Trimble Access Services」をクリックします。
 2. タイトルバーにある「サインイン」をクリックして、サイト管理者から割り当てられた認証情報を入力してください。
 3.  をクリックします。

メモ - Trimble Business Center内で、Trimble Access Services の認証情報を定義することができるため、サインインするたびに入力する必要がなくなります。更に詳しい情報は、[「Trimble Business Centerを介してサービスにアクセス \(Accessing Services via \)」](#) をご参照「Select files (ファイルの選択)」をクリックします。

2. そのファイルのあるフォルダまで移動し、ファイルを選んだら「開く」をクリックします。一度に選べるのはジョブファイルか測量スタイルのどちらかで、両方を選

ぶことはできません。変換したいファイルを全てリストに追加し終わったら、「次へ」をクリックします。

3. 変換後のバージョンを選びます。リストに含まれるバージョンの中で最も新しいバージョンよりも新しいバージョンだけが表示されます。リストに複数のファイルが含まれていても、変換後のバージョンは1つしか選べません。「Next」をクリックします。ファイルはTrimbleがホストするサーバにアップロードされ、選ばれたバージョンに変換されます。
4. 変換の結果が表示されます。変換されたファイルはハイパーリンク付きで一覧表示されます。
 - ファイルをローカルPCに保存するには、各リンクをクリックし、保存先を選択します。
 - Trimble Connected Community団体にログインしている場合は、ファイルをTrimble Connected Community内のTrimble Accessプロジェクトサイトに保存することもできます:
 - a. 「Save to my Trimble Connected Communityfile space (私のTrimble Connected Communityファイルスペースに保存)」を選択し、「Next」をクリックする。
 - b. アクセス権のあるTrimble Accessプロジェクトサイトが一覧表示されます。その中からファイルの保存先を選びます。
 - c. ファイルの保存先のフォルダを選びます。AccessSyncを介して現場のユーザにファイルを送信するには、▶をクリックして<username>フォルダを拡大し、「To the Field (現場へ)」フォルダを選びます。プロジェクトに関係のあるすべてのユーザにファイルを送信するには、「AccessSync (全てのユーザへ)」フォルダを選び、「Next」をクリックします。
5. ファイルの保存の結果が表示されます。さらにファイルを変換するには、Finish (終了) をクリックしてウィザードの最初に戻ります。

GNSS Forecast

GNSS Forecast




GNSS予想サービスは、特定の場所において衛星の可用性と電離層の状態を元に、GNSS測定の適合性を予測するために使われるプランツールです。

このサービスでは、ユーザー様が選択した衛星システムにおける衛星の可用性情報を提供します。

GNSS Forecastサービスで利用可能な衛星を計算する

1. コントローラで、Trimble Accessインターネット設定アプリケーションを使用してインターネット接続の設定を行います。
2. Trimble Access メニューから、GNSS予想アプリケーションを起動します。
3. 「設定」をタップします。
4. 必要な詳細設定を行います：
 - 日付と時間を入力します。
 - 現在位置の緯度と経度を入力します。
 ヒント - GNSS受信機から得られた現在の単独測位位置を使用して、緯度および経度フィールドを自動的に入力するには [ここへ](#) をタップします。
 - 予測データの間隔（時間）を選択します。
 - 高度をカットオフと入力します。
5. 「次へ」をタップします。
6. 捕捉しようとしている衛星（複数可）を選択します。
7. 「終了」をタップします。

GNSS予想サービスはTrimbleがホストするサーバーに接続して情報を計算します。間隔毎の衛星数と電離層状態が割り出されます。測定に使用するにあたっての衛星の適合状態の概要を表示します。

	良好
	可
	不可

「GNSS予想」ステータスバーは、データ状態と利用可能なインターネット接続を表示します。

メモ - TrimbleのGNSS機器の性能は、電離層の状態によって異なります。太陽の爆発により、地球の電離層の状態は変化します。電離層の活動が活発だと、TrimbleのGNSS解の収束に時間がかかり、極端なケースですと位置を計算できない場合もあります。電離層指標は1から10まであります。この数値が高いほど、GNSS測定が影響を受ける可能性が高くなります。GNSS予想サービスを利用すると、その数値を解釈することができます。高すぎる場合には、十分な数の衛星が観測できても、黄色か赤いアイコンが表示されます。